
在宅医療廃棄物実態調査

報告書

平成 15 年 3 月

社団法人 全国産業廃棄物連合会

はじめに

医療制度の改定、多角化等により様々な医療行為の形態の選択が可能になり、自宅で治療を受ける人が増えています。

在宅医療患者の増加に伴い、使用済みの注射針やガーゼなどの「医療廃棄物」が家庭から排出されるようになってきました。ごみがどこから出たかを基準にして、「一般廃棄物」と、「産業廃棄物」に分ける現行制度では、家庭から排出される「在宅医療廃棄物」は、一般廃棄物に分類されており自治体の責任により処理することとされています。しかし、自治体が受入れを拒否したり、回収の際に注射針によって事故が発生したという事例が報告されるなど、適切な処理が困難となっている恐れが生じています。

また、在宅医療廃棄物の処理についての相談が、産業廃棄物処理業者にも数多く寄せられています。

今回、在宅医療廃棄物の処理に関わっていると考えられる、行政および一部事務組合、薬剤師会、在宅介護支援事業所、医療機材メーカーを対象として、在宅医療廃棄物の処理の現状に関するアンケート調査を行いました。

アンケート調査の結果をもとに、在宅医療廃棄物の適正処理の推進に向けて産業廃棄物処理業界の果たすべき役割を検討したいと考えています。

在宅医療廃棄物実態調査報告書

目 次

本編

はじめに	1
第1章 調査の概要	1
1-1 調査目的	1
1-2 調査方法	2
(1) 調査対象	2
(2) アンケート配布・回収方法	2
(3) 回収状況	2
(4) 調査内容	3
第2章 調査結果	6
2-1 調査結果の概要	6
2-2 調査結果	14
2-2-1 在宅医療廃棄物の品目別処理についての調査	14
(1) チューブ等	14
(2) バッグ等	21
(3) ガーゼ・脱脂綿等	28
(4) 注射針等	33
(5) おむつ等	40
(6) その他の廃棄物	42
2-2-2 在宅医療廃棄物の処理全般に関わる調査	46
(1) 在宅医療廃棄物の回収量・回収費用の負担者・回収費用の捻出 ...	46
(2) 調剤薬局等の独自回収について	49
(3) 処理時に起こった事故の報告	50
(4) 処理に関して受けた相談	51
(5) 処理する上での問題点	52
(6) 今後の対応	54

第3章 まとめ	56
3-1 結果の考察	56
(1) 在宅医療廃棄物の受入れ・回収の実施状況	56
(2) 在宅医療廃棄物の収集、処理方法	56
(3) 在宅医療廃棄物処理に関する意識	57
(4) 在宅医療廃棄物処理の費用負担	58
(5) 調剤薬局等の独自回収	58
3-2 今後の課題	59
(1) 在宅医療廃棄物の定義・区分の見直し	59
(2) 在宅医療廃棄物処理基準の確立	59
(3) 自治体、医療機関、産業廃棄物処理業者の連携	59

第 1 章 調査の概要

1 - 1 調査目的

一般に、医療機関が排出する医療廃棄物は産業廃棄物として扱われているが、在宅医療廃棄物は家庭から排出されるため、一般廃棄物に分類され処理されており、基本的に自治体の責任により処理されている。しかし、感染性が高い廃棄物も含まれていることや公衆衛生上の問題により、自治体によっては回収を拒否する場合もあるなど、適正な処理が困難となっている場合もある。

また、産業廃棄物処理業者が在宅医療廃棄物の処理について相談を受ける場合も多くなっている。

そこで、産業廃棄物処理業界として、在宅医療廃棄物の処理にいかに対処すべきかを検討するための資料として、これらの廃棄物の処理の実態について調査した。

1 - 2 調査方法

(1) 調査対象

調査対象として、以下を選定した。

自治体……………東京都内の行政および一部事務組合
薬剤師会……………全国の薬剤師会
在宅介護支援事業所……………主に関東地方の在宅介護支援事業所
メーカー……………全国の主要な医療機材のメーカー

(2) アンケート配布・回収方法

記入様式の質問書（参考資料：資料1～4）を（1）の調査対象へ送付し、ファックスまたは郵送返信で回収した。

(3) 回収状況

アンケートの回収状況を、送付部数とともに表 1-2-1 に示す。

表 1-2-1 アンケート送付・回収の結果

	送付部数（件）	回答数（件）	回収率（％）
自治体用	78	35	47
在宅介護支援事業所用	457	56	12
薬剤師会用	78	28	36
メーカー用	29	9	31
合計	642	128	20

(4) 調査内容

今回選定した在宅医療廃棄物は、以下の5品目である。

- ・チューブ……………透析用、人工呼吸、鼻腔栄養等に用いられるもの
- ・バッグ……………透析、輸血等に用いられるもの
- ・脱脂綿、ガーゼ
- ・注射針
- ・おむつ

選定した在宅医療廃棄物5品目は、代表的な在宅医療行為（在宅自己腹膜灌流（CAPD）、在宅自己注射療法、在宅酸素療法、在宅成分栄養経管栄養法、在宅中心静脈栄養法、在宅自己導尿、在宅人工呼吸等）の中で多く使用されるものである。

「これらの5品目」を中心に在宅医療廃棄物処理に関する質問を行った。質問を行った関係機関とその内容を表 1-2-2 に示す。

表 1-2-2 在宅医療廃棄物の取り扱いについての質問先と質問内容

質問内容		質問を実施した…		質問を行っていない…×		
		質問先	自治体	薬剤師会	在宅介護 支援事業所	メーカー
在宅医療廃棄物の回収（受入れ）の有無			(受入れ)			
在宅医療廃棄物を回収（受入れ）している場合)分別方法			×	×	×
)回収（受入れ）条件					
)回収する者		×	×		
)回収後の処理先		×			
)回収のきっかけ		×			
在宅医療廃棄物を回収（受入れ）しない場合)回収する者					×
)処理先					×

表 1-2-2 在宅医療廃棄物処理についての質問先と質問内容

質問内容		質問を実施した…		質問を行っていない… ×		
		質問先	自治体	薬剤師会	在宅介護支援事業所	メーカー
(1)在宅医療廃棄物の回収量 ・回収費用 ・費用の捻出	回収量		×			
	処理費用		×			
(2)調剤薬局等の独自回収の有無			×		×	×
(3)処理時の事故						
(4)処理に関する相談事例						
(5)問題点						
(6)今後の調査・検討予定						

第2章 調査結果

2-1 調査結果の概要

今回のアンケート調査結果の概要を表 2-1-1 に示す。

表 2-1-1 調査結果の概要(1/7)

質問先 質問内容	自治体	薬剤師会	在宅介護支援事業所	メーカー	備考	
在宅医療廃棄物の回収(受入れ)の有無	チューブ	受入れている：43% (15件) 受入れていない：51% (18件) 分からない：3% (1件) 無回答：3% (1件) (有効回答数：35件)	回収している：4% (1件) 回収していない：89% (25件) 分からない：0% (0件) 無回答：7% (2件) (有効回答数：28件)	回収している：38% (21件) 回収していない：55% (31件) 分からない：0% (0件) 無回答：7% (4件) (有効回答数：56件)	回収している：0件 回収していない：3件 分からない：0件 無回答：0件 (有効回答数：3件)	
	バッグ	受入れている：43% (15件) 受入れていない：51% (18件) 分からない：3% (1件) 無回答：3% (1件) (有効回答数：35件)	回収している：4% (1件) 回収していない：89% (25件) 分からない：0% (0件) 無回答：7% (2件) (有効回答数：28件)	回収している：32% (18件) 回収していない：61% (34件) 分からない：0% (0件) 無回答：7% (4件) (有効回答数：56件)	回収している：0件 回収していない：3件 分からない：0件 無回答：0件 (有効回答数：3件)	
	脱脂綿、ガーゼ	受入れている：74% (26件) 受入れていない：23% (8件) 分からない：0% (0件) 無回答：3% (1件) (有効回答数：35件)	回収している：4% (1件) 回収していない：89% (25件) 分からない：0% (0件) 無回答：7% (2件) (有効回答数：28件)	回収している：20% (11件) 回収していない：73% (41件) 分からない：0% (0件) 無回答：7% (4件) (有効回答数：56件)	回収している：0件 回収していない：2件 分からない：0件 無回答：0件 (有効回答数：2件)	
	注射針	受入れている：20% (7件) 受入れていない：77% (27件) 分からない：0% (0件) 無回答：3% (1件) (有効回答数：35件)	回収している：18% (5件) 回収していない：75% (21件) 分からない：0% (0件) 無回答：7% (2件) (有効回答数：28件)	回収している：59% (33件) 回収していない：34% (19件) 分からない：0% (0件) 無回答：7% (4件) (有効回答数：56件)	回収している：0件 回収していない：3件 分からない：0件 無回答：0件 (有効回答数：3件)	
	おむつ	受入れている：97% (34件) 受入れていない：0% (0件) 分からない：0% (0件) 無回答：3% (1件) (有効回答数：35件)	回収している：0% (0件) 回収していない：93% (26件) 分からない：0% (0件) 無回答：7% (2件) (有効回答数：28件)	回収している：0% (0件) 回収していない：91% (51件) 分からない：0% (0件) 無回答：9% (5件) (有効回答数：56件)	回収している：0件 回収していない：4件 分からない：0件 無回答：0件 (有効回答数：4件)	
	その他	受入れている：9% (3件) 受入れていない：14% (5件) 分からない：9% (3件) 無回答：68% (24件) (有効回答数：35件) 【主な廃棄物】 ・薬品 ・人工肛門 等	回収している：0% (0件) 回収していない：79% (22件) 分からない：0% (0件) 無回答：21% (6件) (有効回答数：28件) 【主な廃棄物】 回答なし	回収している：20% (11件) 回収していない：71% (40件) 分からない：0% (0件) 無回答：9% (5件) (有効回答数：56件) 【主な廃棄物】 ・ボトル、容器、アンプル、バイアル ・薬品 ・ゴム手袋 等	回収している：0件 回収していない：1件 分からない：0件 無回答：0件 (有効回答数：1件) 【主な廃棄物】 ・浣腸	

最も多かった回答に網掛けをした。

有効回答数の合計が10件に満たない結果は、件数のみを示した。

表 2-1-1 調査結果の概要 (2 / 7)

質問先		自治体	薬剤師会	在宅介護支援事業所	メーカー	備考
在宅医療廃棄物を回収(受入れ)している場合) 分別方法	チューブ	可燃ごみ：53% (8件) 不燃ごみ：47% (7件) ¹⁾ (有効回答数：15件)			1 うち1件は、不燃ごみとして回収し、可燃ごみとして処理すると回答
		バッグ	可燃ごみ：53% (8件) 不燃ごみ：47% (7件) ¹⁾ (有効回答数：15件)			
		脱脂綿、ガーゼ	可燃ごみ：100% (26件) 不燃ごみ：0% (0件) (有効回答数：26件)			
		注射針	可燃ごみ：4件 不燃ごみ：3件 ¹⁾ (有効回答数：7件)			
		おむつ	可燃ごみ：100% (34件) 不燃ごみ：0% (0件) (有効回答数：34件)			
		その他	可燃ごみ：3件 不燃ごみ：0件 (有効回答数：3件)			

最も多かった回答に網掛けをした。

有効回答数の合計が10件に満たない結果は、件数のみを示した。

表 2-1-1 調査結果の概要 (3 / 7)

質問先		自治体	薬剤師会	在宅介護支援事業所	メーカー	備考
在宅医療廃棄物を回収(受入れ)している場合	回収(受入れ)条件					
	チューブ	条件あり：78% (14件) 条件なし：22% (4件) (有効回答数：17件) 【主な条件】 ・ごみ袋を2重にする ・医療機関へ戻すよう指導の上、やむを得ない場合のみ受入れる 等	【主な条件】 ・専用の容器に入れる (有効回答数：1件)	条件あり：80% (16件) 条件なし：20% (4件) (有効回答数：20件) 【主な条件】 ・専用の容器に入れる ・ごみ袋を2重にする 等	【どここの製品を回収しているか】 ・患者からの要請があれば、他社の製品も回収する (有効回答数：1件)	
	バッグ	条件あり：71% (12件) 条件なし：29% (5件) (有効回答数：15件) 【主な条件】 ・ごみ袋を2重にする ・内容物は処理済みのものに限る 等	【主な条件】 ・専用の容器に入れる (有効回答数：1件)	条件あり：87% (14件) 条件なし：13% (2件) (有効回答数：16件) 【主な条件】 ・専用の容器に入れる ・ごみ袋を2重にする 等	【どここの製品を回収しているか】 ・患者からの要請があれば、他社の製品も回収する (有効回答数：1件)	
	脱脂綿、ガーゼ	条件あり：31% (8件) 条件なし：69% (18件) (有効回答数：26件) 【主な条件】 ・非感染性に限る 等	【主な条件】 ・専用の容器に入れる (有効回答数：1件)	条件あり：72% (8件) 条件なし：28% (3件) (有効回答数：11件) 【主な条件】 ・専用の容器に入れる ・ごみ袋を2重にする 等	(有効回答数：0件)	
	注射針	条件あり：91% (10件) 条件なし：9% (1件) (有効回答数：11件) 【主な条件】 ・医療ごみであることを記載する 等	条件あり：2件 条件なし：3件 (有効回答数：5件) 【主な条件】 ・専用の容器に入れる	条件あり：90% (28件) 条件なし：10% (3件) (有効回答数：31件) 【主な条件】 ・専用の容器に入れる ・ごみ袋を2重にする 等	【どここの製品を回収しているか】 ・患者からの要請があれば、他社の製品も回収する (有効回答数：1件)	
	おむつ	条件あり：68% (27件) 条件なし：32% (13件) (有効回答数：40件) 【主な条件】 ・汚物を取り除く ・非感染性に限る 等	(有効回答数：0件)	(有効回答数：0件)	(有効回答数：0件)	
	その他	条件あり：1件 条件なし：2件 (有効回答数：3件) 【主な条件】 ・汚物を取り除く	(有効回答数：0件)	条件あり：91% (10件) 条件なし：9% (1件) (有効回答数：11件) 【主な条件】 ・専用の容器に入れる ・ごみ袋を2重にする 等	(有効回答数：0件)	

最も多かった回答に網掛けをした。

有効回答数の合計が10件に満たない結果は、件数のみを示した。

表 2-1-1 調査結果の概要 (4 / 7)

質問先		自治体	薬剤師会	在宅介護支援事業所	メーカー	備考
在宅医療廃棄物を回収(受入れ)している場合) 回収する者	チューブ			自 社：74% (14件) 産廃業者：26% (5件) (有効回答数：19件)	自 社：1件 (有効回答数：1件)
		バッグ			自 社：82% (14件) 産廃業者：18% (3件) (有効回答数：17件)	自 社：1件 (有効回答数：1件)
		脱脂綿、ガーゼ			自 社：91% (10件) 産廃業者：9% (1件) (有効回答数：11件)	自 社：1件 (有効回答数：1件)
		注射針			自 社：87% (28件) 産廃業者：13% (4件) (有効回答数：32件)	自 社：1件 (有効回答数：1件)
		おむつ			(有効回答数：0件)	(有効回答数：0件)
		その他			自 社：100% (11件) (有効回答数：11件)	(有効回答数：0件)
) 回収後の処理先	チューブ		産廃業者に依頼：1件 (有効回答数：1件)	産廃業者に依頼：95% (18件) メーカー回収：5% (1件) (有効回答数：19件)	産廃業者に依頼：1件 (有効回答数：1件)
		バッグ		産廃業者に依頼：1件 (有効回答数：1件)	産廃業者に依頼：100% (15件) (有効回答数：15件)	産廃業者に依頼：1件 (有効回答数：1件)
		脱脂綿、ガーゼ		産廃業者に依頼：1件 (有効回答数：1件)	産廃業者に依頼：100% (11件) (有効回答数：11件)	産廃業者に依頼：1件 (有効回答数：1件)
		注射針		産廃業者に依頼：5件 (有効回答数：5件)	産廃業者に依頼：97% (30件) メーカー回収：3% (1件) (有効回答数：31件)	産廃業者に依頼：1件 (有効回答数：1件)
		おむつ		(有効回答数：0件)	(有効回答数：0件)	(有効回答数：0件)
		その他		(有効回答数：0件)	産廃業者に依頼：100% (11件) (有効回答数：11件)	(有効回答数：0件)

最も多かった回答に網掛けをした。

有効回答数の合計が10件に満たない結果は、件数のみを示した。

表 2-1-1 調査結果の概要 (5 / 7)

質問先		質問内容	自治体	薬剤師会	在宅介護支援事業所	メーカー	備考
在宅医療廃棄物を回収(受入れ)している場合)回収のきっかけ	チューブ		行政指導：1件 (有効回答数：1件)	自社の判断：76% (17件) 行政指導：14% (3件) その他：10% (2件) (有効回答数：22件)	自社の判断：1件 (有効回答数：1件)	
		バッグ		自社の判断：1件 (有効回答数：1件)	自社の判断：74% (12件) 行政指導：13% (2件) その他：13% (2件) (有効回答数：16件)	自社の判断：1件 (有効回答数：1件)	
		脱脂綿、ガーゼ		自社の判断：1件 (有効回答数：1件)	自社の判断：100% (11件) (有効回答数：11件)	自社の判断：1件 (有効回答数：1件)	
		注射針		自社の判断：1件 (有効回答数：1件)	自社の判断：82% (26件) 行政指導：6% (2件) その他：12% (4件) (有効回答数：32件)	自社の判断：1件 (有効回答数：1件)	
		おむつ		(有効回答数：0件)	(有効回答数：0件)	(有効回答数：0件)	
		その他		(有効回答数：0件)	自社の判断：100% (11件) (有効回答数：11件)	(有効回答数：0件)	

最も多かった回答に網掛けをした。

有効回答数の合計が10件に満たない結果は、件数のみを示した。

表 2-1-1 調査結果の概要 (6 / 7)

質問先		自治体	薬剤師会	在宅介護支援事業所	メーカー	備考
在宅医療廃棄物を回収(受入れ)しない場合) 回収する者	チューブ	医療機関：40% (10件) 産廃業者：13% (3件) 個々の薬局：13% (3件) その他：17% (4件) 分からない：17% (4件) (有効回答数：24件)	個々の薬局：4件 自治体：1件 医療機関：1件 その他：1件 分からない：1件 (有効回答数：8件)	自治体：54% (13件) 医療機関：42% (10件) 分からない：4% (1件) (有効回答数：24件)	
		バッグ	医療機関：40% (10件) 産廃業者：13% (3件) 個々の薬局：13% (3件) その他：17% (4件) 分からない：17% (4件) (有効回答数：24件)	個々の薬局：4件 自治体：1件 医療機関：1件 その他：1件 分からない：1件 (有効回答数：8件)	自治体：46% (11件) 医療機関：42% (10件) その他：8% (2件) 分からない：4% (1件) (有効回答数：24件)	
		脱脂綿、ガーゼ	医療機関：37% (4件) 産廃業者：18% (2件) 個々の薬局：9% (1件) その他：27% (3件) 分からない：9% (1件) (有効回答数：11件)	個々の薬局：3件 自治体：1件 その他：1件 分からない：2件 (有効回答数：7件)	自治体：91% (31件) 医療機関：3% (1件) その他：3% (1件) 分からない：3% (1件) (有効回答数：34件)	
		注射針	医療機関：43% (14件) 産廃業者：9% (3件) 個々の薬局：9% (3件) その他：12% (4件) 分からない：27% (9件) (有効回答数：33件)	個々の薬局：40% (4件) 医療機関：40% (4件) 自治体：10% (1件) 分からない：10% (1件) (有効回答数：10件)	自治体：13% (2件) 医療機関：73% (11件) その他：7% (1件) 分からない：7% (1件) (有効回答数：15件)	
		おむつ	(有効回答数：0件)	(有効回答数：0件)	(有効回答数：0件)	
		その他	医療機関：41% (6件) 産廃業者：13% (2件) 個々の薬局：13% (2件) その他：13% (2件) 分からない：20% (3件) (有効回答数：15件)	個々の薬局：2件 自治体：1件 その他：1件 分からない：1件 (有効回答数：5件)	自治体：4件 分からない：3件 (有効回答数：7件)	
) 処理先	チューブ	分からない：77% (14件) 産廃業者：17% (3件) その他：6% (1件) (有効回答数：18件)	産廃業者：3件 (有効回答数：3件)	(有効回答数：0件)	
		バッグ	分からない：72% (13件) 産廃業者：22% (4件) その他：6% (1件) (有効回答数：18件)	産廃業者：3件 (有効回答数：3件)	(有効回答数：0件)	
		脱脂綿、ガーゼ	分からない：5件 産廃業者：3件 (有効回答数：8件)	産廃業者：1件 (有効回答数：1件)	(有効回答数：0件)	
		注射針	分からない：76% (19件) 産廃業者：20% (5件) その他：4% (1件) (有効回答数：25件)	産廃業者：2件 (有効回答数：2件)	(有効回答数：0件)	
		おむつ	(有効回答数：0件)	(有効回答数：0件)	(有効回答数：0件)	
		その他	分からない：6件 産廃業者：1件 (有効回答数：7件)	産廃業者：1件 (有効回答数：1件)	(有効回答数：0件)	

最も多かった回答に網掛けをした。
有効回答数の合計が10件に満たない結果は、件数のみを示した。

表 2-1-1 調査結果の概要 (7/7)

質問内容	質問先	自治体	薬剤師会	在宅介護支援事業所	メーカー	備考
(1)在宅医療廃棄物の回収量・回収費用の捻出	回収量		5以下:1件 6~40:2件 41以上:0件 (単位:kg/年、有効回答数:3件)	5以下:44%(7件) 6~40:50%(8件) 41以上:6%(1件) (単位:kg/年、有効回答数:16件)	(有効回答数:0件)	
	回収費用の負担者		薬剤師会:3件 調剤薬局:2件 (有効回答数:5件)	自社:80%(25件) 医療機関:10%(3件) その他:10%(3件) (有効回答数:31件)	自社:1件 (有効回答数:1件)	
	回収費用の捻出		問題ない:1件 今後増えると困る:2件 困っている:1件 (有効回答数:4件)	問題ない:38%(10件) 今後増えると困る:54%(14件) 困っている:8%(2件) (有効回答数:26件)	今後増えると困る:1件 (有効回答数:1件)	
(2)調剤薬局等の独自回収の有無			独自回収している:32%(9件) うち、件数を把握している:2件 うち、件数を把握していない:7件 独自回収していない:7%(2件) 分からない:40%(11件) 無回答:21%(6件) (有効回答数:28件)			
(3)処理時の事故		報告があった:42%(15件) 報告はない:55%(19件) 無回答:3%(1件) (有効回答数:35件) 【主な事故報告】 ・針刺し事故:5件 ・針を発見:5件 等	報告があった:4%(1件) 報告はない:14%(4件) 無回答:82%(23件) (有効回答数:28件) 【主な事故報告】 ・針刺し事故:1件 等	報告があった:5%(3件) 報告はない:54%(30件) 無回答:41%(23件) (有効回答数:56件) 【主な事故報告】 ・針刺し事故:3件 等	(有効回答数:0件)	
(4)処理に関する相談事例		どこに出すか:43%(22件) どのように出すか:38%(20件) その他:2%(1件) 特に受けていない:17%(9件) (有効回答数:52件)	どこに出すか:37%(10件) どのように出すか:33%(9件) その他:4%(1件) 特に受けていない:26%(7件) (有効回答数:27件)	どこに出すか:35%(24件) どのように出すか:40%(28件) その他:3%(2件) 特に受けていない:22%(15件) (有効回答数:69件)	どこに出すか:3件 どのように出すか:3件 その他:0件 特に受けていない:0件 (有効回答数:6件)	
(5)問題点		問題ある:80%(28件) 問題ない:14%(5件) 分からない:0%(0件) 無回答:6%(2件) (有効回答数:35件)	問題ある:25%(7件) 問題ない:42%(12件) 分からない:4%(1件) 無回答:29%(8件) (有効回答数:28件)	問題ある:41%(23件) 問題ない:41%(23件) 分からない:0%(0件) 無回答:18%(10件) (有効回答数:56件)	問題ある:2件 問題ない:0件 分からない:0件 無回答:7件 (有効回答数:9件)	
(6)今後の調査・検討予定		予定がある:11%(4件) 予定はない:83%(29件) 無回答:6%(2件) (有効回答数:35件)	予定がある:25%(7件) 予定はない:46%(13件) 無回答:29%(8件) (有効回答数:28件)	予定がある:13%(7件) 予定はない:69%(39件) 無回答:18%(10件) (有効回答数:56件)	予定がある:1件 予定はない:4件 無回答:4件 (有効回答数:9件)	

最も多かった回答に網掛けをした。

有効回答数の合計が10件に満たない結果は、件数のみを示した。

2 - 2 調査結果

2 - 2 - 1 在宅医療廃棄物の品目別処理についての調査

(1) チューブ等

在宅医療廃棄物の受入れ、回収

受入れ（自治体）、回収状況の結果を図 2 - 2 - 1 に示した。

自治体は約半数が受入れを行っていない。

薬剤師会での回収はほぼ行われていない。

在宅介護支援事業所では、4 割程度が回収を行っている。

チューブを取り扱っているメーカー3 社（9 社中）の回答では、回収は行われておらず、要請があった場合に回収を行うところが1 社あった。

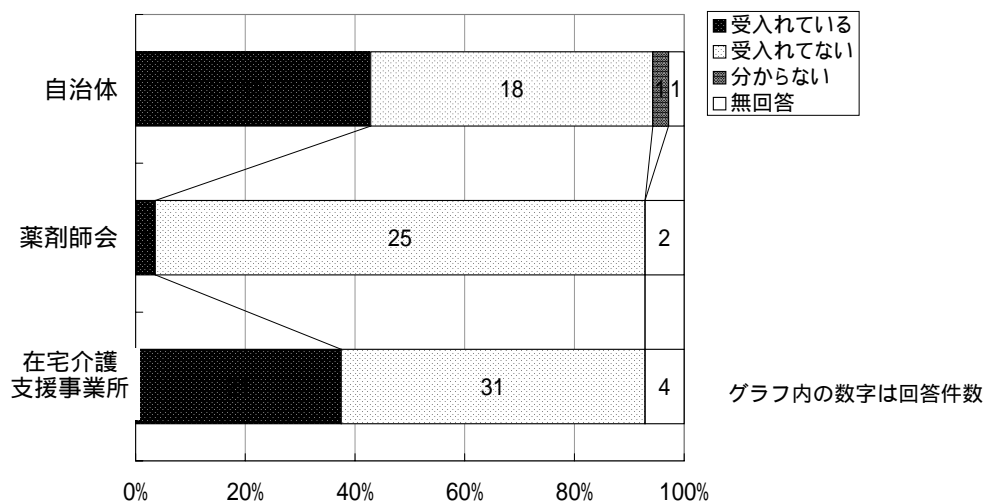


図 2 - 2 - 1 受入れ・回収（チューブ）

（有効回答数：自治体 35 件、薬剤師会 28 件、在宅介護支援事業所 56 件）

受入れ・回収を行っている場合（ で回収(受入れ)していると答えた場合)

i) 自治体の受入れ・回収時の分別方法

チューブをどのような廃棄物として受入れているかについて図 2-2-2 に示した。

チューブは、ほぼ同等の割合で「可燃ごみ」、「不燃ごみ」として受入れられている。不燃ごみとして回収するという回答の中には、「不燃ごみで回収して可燃で処理する」というものもあった。(1件)

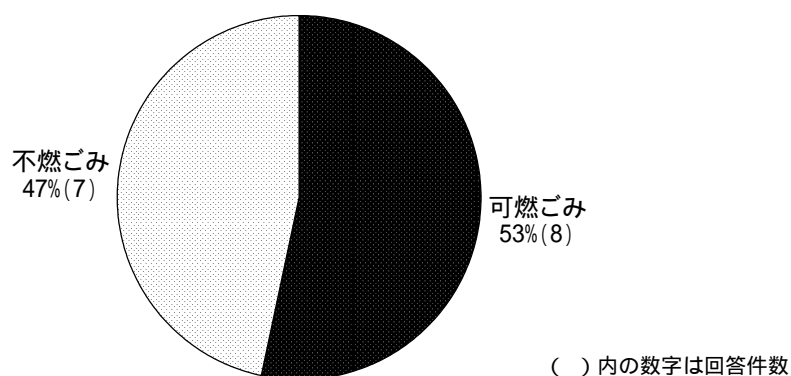


図 2-2-2 分別方法(チューブ)
(自治体)
(有効回答数: 15件)

ii) 回収（受入れ）を行う条件について

受入れ（自治体）回収を行う条件を設置しているか図 2-2-3、図 2-2-4 に示した。

自治体・在宅介護支援事業所ともに、約 8 割が受入れ・回収の条件を指定している。薬剤師会では「専用の容器に入れる」（有効回答数 1 件）。メーカーは患者からの要請があれば「他社の製品も回収」している（有効回答数 1 件）。

その他の主な受入・回収条件を以下に示す。

- ・ 「ごみ袋に中身を記載する」
- ・ 「ごみ袋に在宅医療廃棄物であることを記載する」
- ・ 「ごみ袋が破れないようにする」
- ・ 「指定収集袋に入れ、口に黄色いテープを巻く」（各 1 件） 以上自治体
- ・ 「ビニール袋に入れて持ち帰る」（1 件）等 在宅介護支援事業所

（ ）内の数字は回答件数

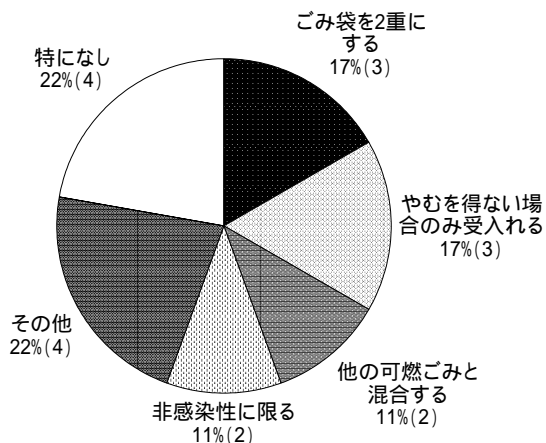


図 2-2-3 受入条件（チューブ）
（自治体）
（複数回答あり有効回答数：18 件）

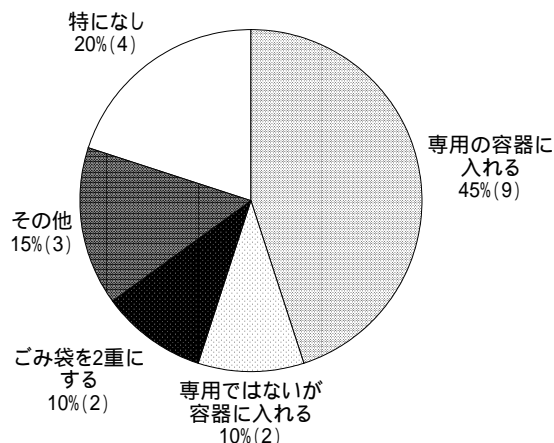


図 2-2-4 回収条件（チューブ）
（在宅介護支援事業所）
（複数回答あり有効回答数：20 件）

iii) 回収する者について

誰が回収しているかについて図 2-2-5 に示した。

在宅介護支援事業所では、「自社」で回収しているところが 7 割以上を占め、それ以外は産業廃棄物処理業者が回収しているという回答であった。

メーカーは、「自社」で回収という回答があった。(有効回答数：1 件)

自治体、薬剤師会は該当の設問なし。

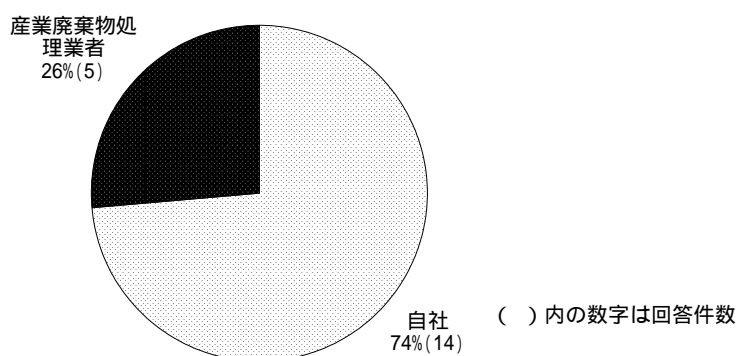


図 2-2-5 回収する者(チューブ)
(在宅介護支援事業所)
(有効回答数：19 件)

iv) 回収後の処理について

回収後、どのように処理しているかについて図 2-2-6 に示した。

在宅介護支援事業所では、「産業廃棄物処理業者」に処理を頼んでいるところがほとんどであった。

薬剤師会・メーカーともに「産業廃棄物処理業者」に処理を依頼している。(ともに有効回答数：1 件)

自治体は該当の設問なし。

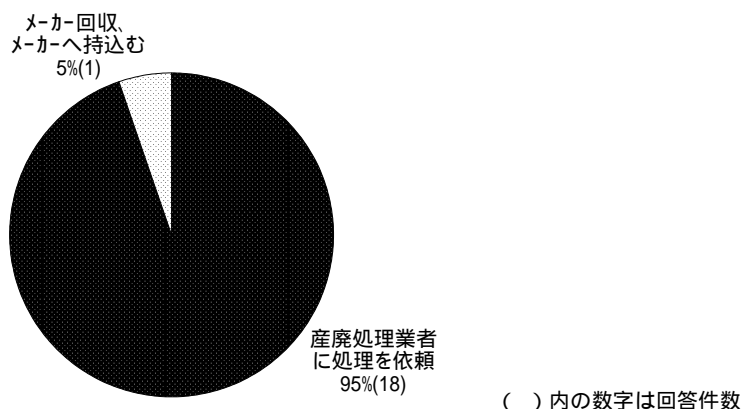


図 2-2-6 回収後の処理(チューブ)
(在宅介護支援事業所)
(有効回答数：19 件)

v) 回収を行うようになったきっかけについて

回収を行うようになったきっかけについて図 2-2-7 に示した。

在宅介護支援事業所では、「自社の判断」で回収を始めたところが多かった。

その他の回答は、「医師会の取り組み」という回答があった。(1件)

薬剤師会では、「行政からの指導」(有効回答数：1件)。

メーカーでは、「患者からの相談を受けて自社で判断して」(有効回答：1件)という回答があった。

自治体は該当の設問なし。

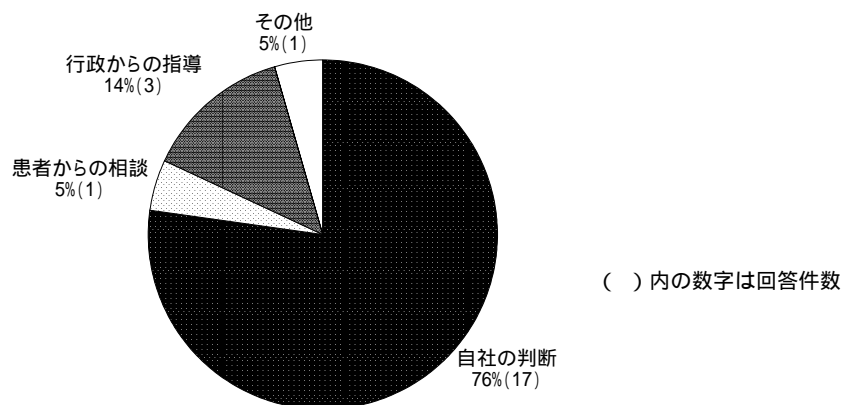


図 2-2-7 回収のきっかけ(チューブ)
(在宅介護支援事業所)
(有効回答数：22件)

回収(受入れ)しない場合(で回収(受入れ)しないと答えた場合)

i) 誰が回収しているかについて

回収していない場合、誰が回収しているかの把握状況についての回答を図 2-2-8 に示した。

受入れていない自治体が把握している回収者として「医療機関」が約 4 割を占めた。

薬剤師会では、「個々の薬局」、在宅介護支援事業所では、「自治体」、「医療機関」という回答が多かった。

メーカーは該当の設問なし。

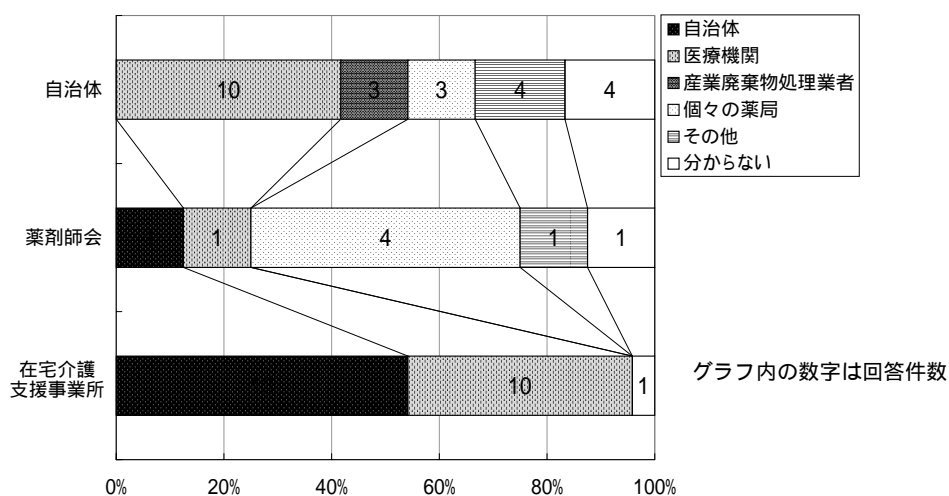


図 2-2-8 回収する者(チューブ)

(複数回答有り有効回答数：自治体 24 件、薬剤師会 8 件、在宅介護支援事業所 24 件)

ii) どこで処理されているかについて

回収していない場合に、どこで処理されているかの把握状況についての回答を図2-2-9に示した。

自治体では、回収後の処理までは分からないという回答が多かった。その他の回答は、「市の指導による」(1件)。

薬剤師会では、「産業廃棄物処理業者」(3件)であった。(有効回答数：3件)

在宅介護支援事業所は、有効な回答は無かった。

メーカーは該当の設問なし。

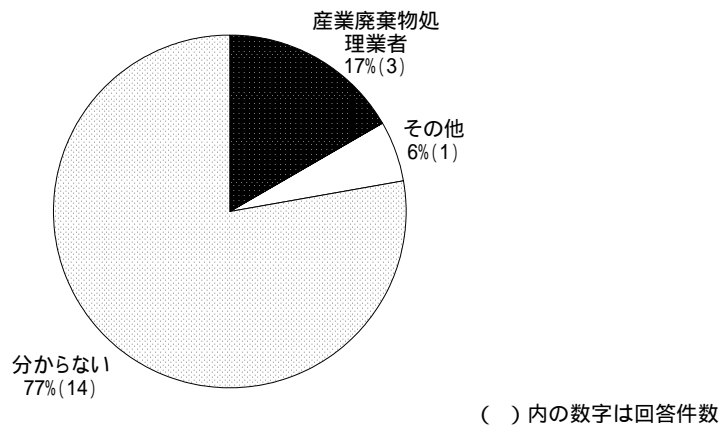


図2-2-9 回収後の処理(チューブ)
(自治体)
(有効回答数：18件)

(2) バッグ等

在宅医療廃棄物の受入れ、回収

受入れ（自治体）、回収状況の結果を図 2-2-10 に示した。

自治体は約半数が受入れを行っていない。

薬剤師会での回収はほぼ行われていない。

在宅介護支援事業所では、3割程度が回収を行っている。

バッグを取り扱っているメーカー3社（9社中）の回答では、回収は行われておらず、要請があった場合に回収を行うところが1社あった。

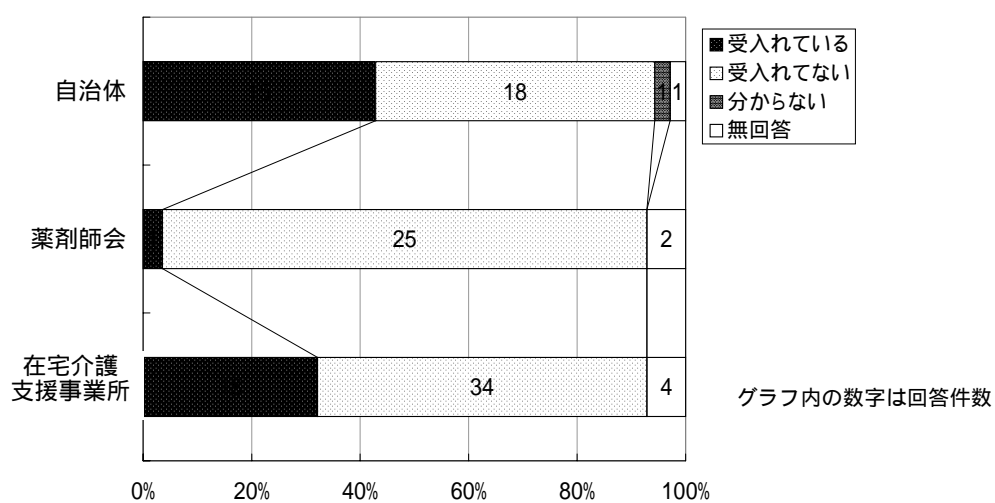


図 2-2-10 受入れ・回収（バッグ）

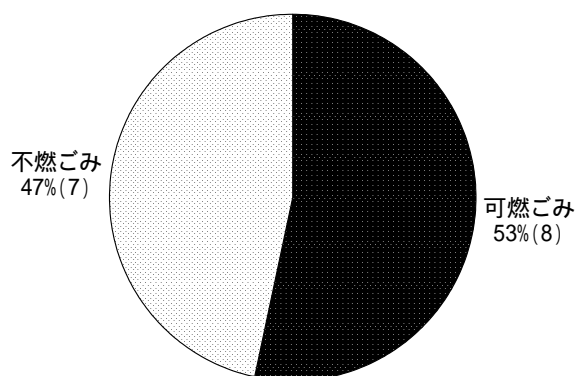
（有効回答数：自治体 35 件、薬剤師会 28 件、在宅介護支援事業所 56 件）

受入れ・回収を行っている場合（ で回収(受入れ)していると答えた場合）

i) 自治体の受入れ・回収時の分別方法

バッグをどのような廃棄物として受入れているかについて図 2-2-1 1 に示した。

バッグは、ほぼ同等の割合で「可燃ごみ」、「不燃ごみ」として受入れられている。不燃ごみとして回収するという回答の中には、「不燃ごみで回収して可燃で処理する」というものもあった。(1件)



()内の数字は回答件数

図 2-2-1 1 分別方法(バッグ)
(自治体)
(有効回答数: 15 件)

ii) 回収（受入れ）を行う条件について

受入れ(自治体) 回収を行う条件を設置しているか図 2-2-1 2、図 2-2-1 3に示した。

自治体は7割、在宅医療介護支援事業所では9割近く受入れ・回収の条件を指定している。

薬剤師会では「専用の容器に入れる」という回答があった。(有効回答数1件)
メーカーは患者からの要請があれば「他社の製品も回収」している(有効回答数1件)。

その他の主な受入・回収条件を以下に示す。

- ・ 「ごみ袋に中身を記載する。」
- ・ 「ごみ袋に在宅医療廃棄物であることを記載する。」
- ・ 「医療機関へ戻すよう指導しているが、やむを得ない場合に受入れる。」
- ・ 「他の可燃ごみと混合し、他人の目に触れないようにして排出する。」
- ・ 「指定収集袋に入れ、口に黄色いテープを巻く。」
- ・ 「ごみ袋が破れないようにする。」 (各1件) 以上：自治体

()内の数字は回答件数

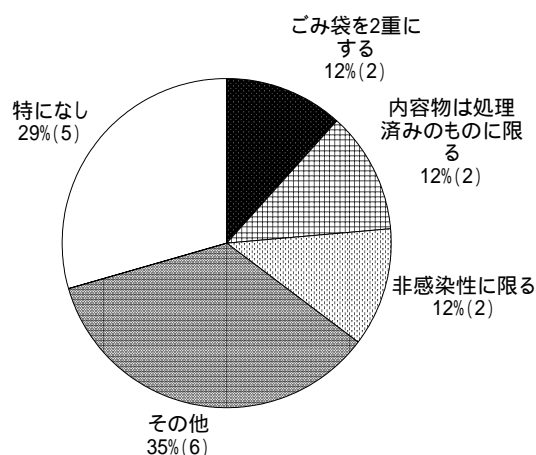


図 2-2-1 2 受入条件(バッグ)
(自治体)
(複数回答有り有効回答数：17件)

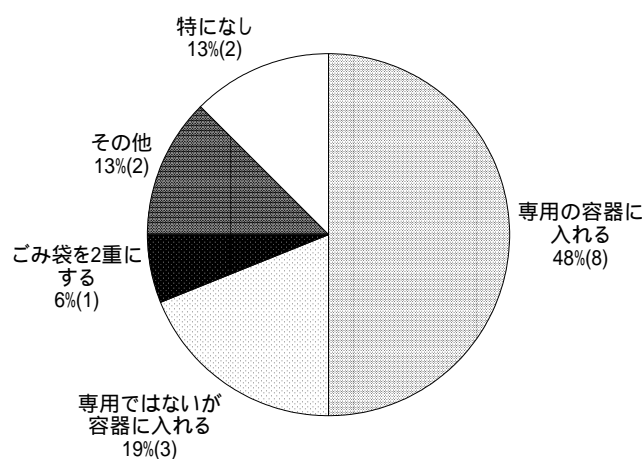


図 2-2-1 3 回収条件(バッグ)
(在宅介護支援事業所)
(複数回答有り有効回答数：16件)

iii) 回収する者について

誰が回収しているかについて図 2-2-14 に示した。

在宅介護支援事業所では、「自社」で回収しているところが 8 割以上を占め、それ以外は産業廃棄物処理業者が回収しているという回答であった。

メーカーは、「自社」で回収するという回答があった。(有効回答数：1 件)

自治体、薬剤師会は該当の設問なし。

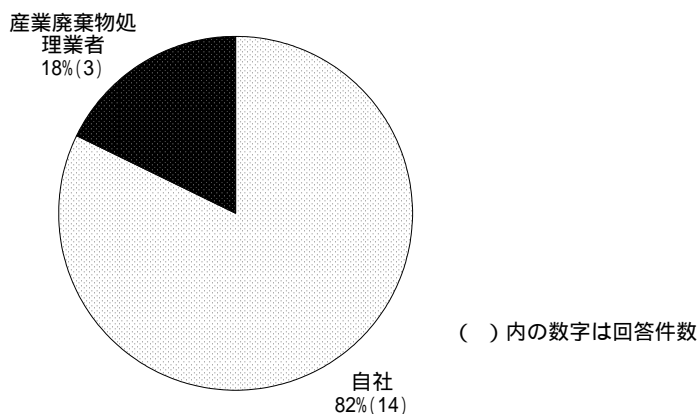


図 2-2-14 回収する者(バッグ)
(在宅介護支援事業所)
(有効回答数：17 件)

iv) 回収後の処理について

在宅医療廃棄物を回収後、どのように処理しているかについての回答は、薬剤師会、在宅介護支援事業所、メーカーともに全ての回答が「産業廃棄物処理業者」に処理を頼んでいるということだった。

薬剤師会 「産業廃棄物処理業者」(有効回答数：1 件)

在宅介護支援事業所 「産業廃棄物処理業者」(有効回答数：15 件)

メーカー 「産業廃棄物処理業者」(有効回答数：1 件)

自治体は該当の設問なし。

v) 回収を行うようになったきっかけについて

回収を行うようになったきっかけについて図 2-2-15 に示した。

在宅介護支援事業所では、「自社の判断」で回収を始めたところが多かった。

その他の回答は、「医師会の取り組み」という回答があった。(1件)

薬剤師会では、「行政からの指導と患者からの相談を踏まえ自社で判断」(有効回答数：1件)。

メーカーでは、「患者からの相談を受けて自社で判断して」(有効回答：1件)という回答があった。

自治体は該当の設問なし。

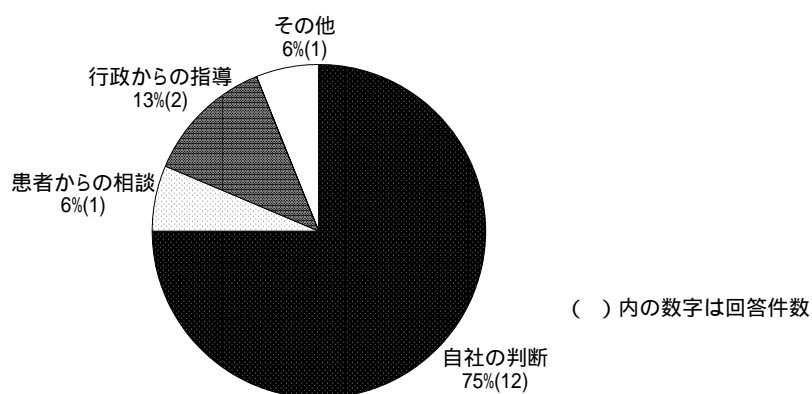


図 2-2-15 回収のきっかけ(バッグ)

(在宅介護支援事業所)

(複数回答有り有効回答数：16件)

回収(受入れ)しない場合(で回収(受入れ)しないと答えた場合)

i) 誰が回収しているかについて

回収していない場合、誰が回収しているかの把握状況についての回答を図 2-2-16 に示した。

受入れていない自治体が把握している回収者として「医療機関」が半数以上を占めた。

薬剤師会では、「個々の薬局」、在宅介護支援事業所では、「自治体」、「医療機関」という回答が多かった。

メーカーは該当の設問なし。

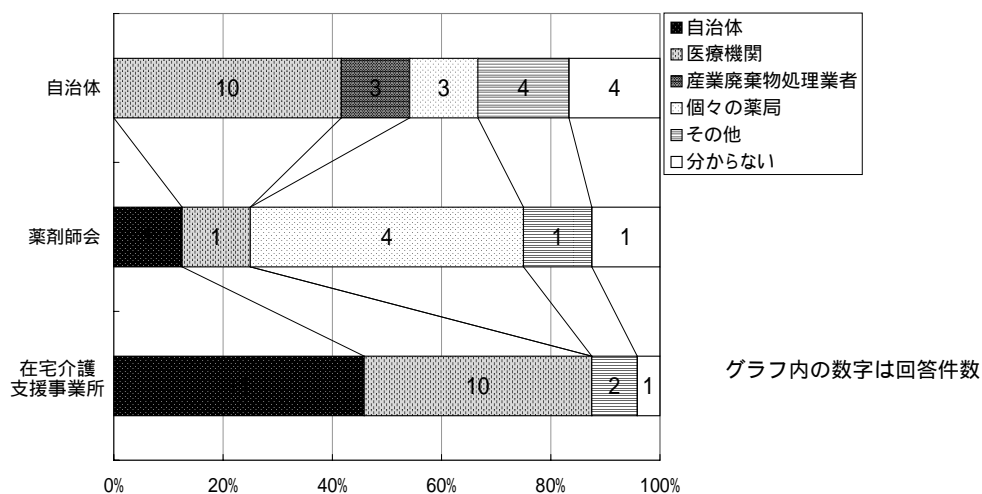


図 2-2-16 回収する者(バッグ)

(複数回答有り有効回答数：自治体 24 件、薬剤師会 8 件、在宅介護支援事業所 24 件)

ii) どこで処理されているかについて

回収していない場合に、どこで処理されているかの把握状況についての回答を図2-2-17に示した。

自治体では、回収後の処理までは分からないという回答が多かった。その他の回答は、「市の指導による」(1件)。

薬剤師会では、「産業廃棄物処理業者」(3件)であった。(有効回答数:3件)
在宅介護支援事業所は、有効な回答は無かった。

メーカーは該当の設問なし。

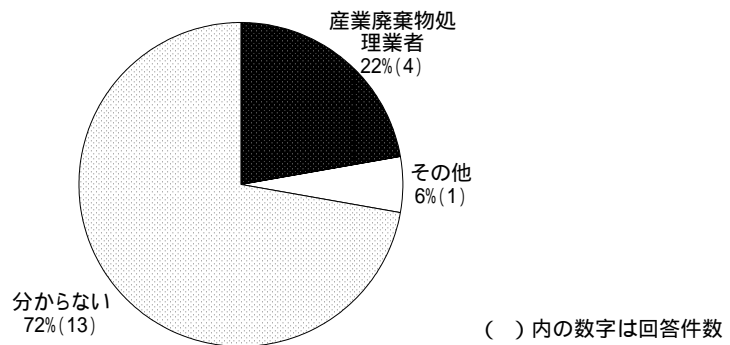


図2-2-17 回収後の処理(バッグ)
(自治体)
(有効回答数:18件)

(3) ガーゼ・脱脂綿等

在宅医療廃棄物の受入れ、回収

受入れ（自治体）回収状況の結果を図 2-2-18 に示した。

自治体は約 2 割が受入れを行っていない。

薬剤師会での回収はほぼ行われていない。

在宅介護支援事業所では、2 割程度が回収を行っている。

取り扱っているメーカー 2 社の回答では、回収は行われておらず、要請があった場合に回収を行うところが 1 社あった。

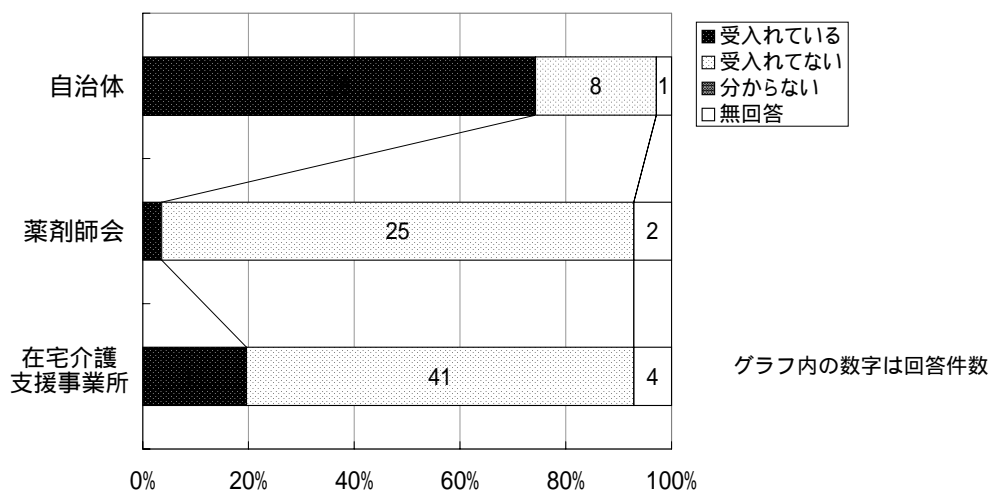


図 2-2-18 受入れ・回収（ガーゼ・脱脂綿）

（有効回答数：自治体 35 件、薬剤師会 28 件、在宅介護支援事業所 56 件）

受入れ・回収を行っている場合（ で回収(受入れ)していると答えた場合)

i) 自治体の受入れ・回収時のごみの種類

ガーゼ・脱脂綿等はすべて「可燃ごみ」として受入れている（有効回答：26件）ということであった。そのうち1件は「提供機関・医療機関等へ返却するよう指導しているが、やむを得ない場合に可燃ごみで処理する」という回答であった。

ii) 回収（受入れ）を行う条件について

受入れ(自治体) 回収を行う条件を設置しているか図 2-2-19、図 2-2-20に示した。

自治体は2割近くが条件を指定している。

在宅医療介護支援事業所では7割近く回収の条件を指定している。

薬剤師会では「専用の容器に入れる」(有効回答数1件)。メーカーは患者からの要請があれば「他社の製品も回収」している。(有効回答数1件)

その他の主な受け入れ・回収条件を以下に示す。

- ・ 「ごみ袋を2重にする。」
 - ・ 「ごみ袋が破れないようにする。」（各1件）
- 以上自治体

()内の数字は回答件数

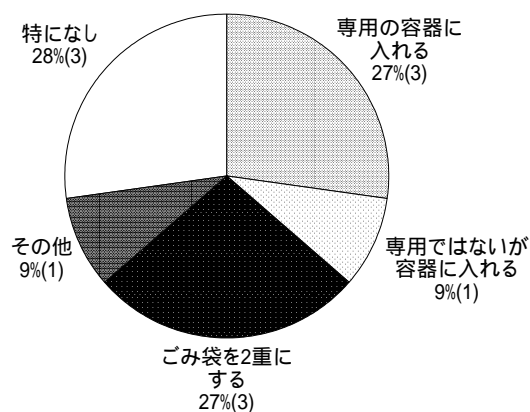
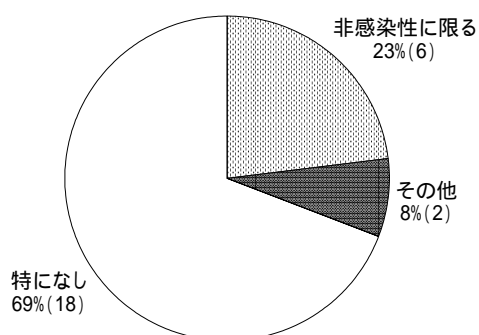


図 2-2-19 受入条件(ガーゼ・脱脂綿) (自治体) (複数回答有り有効回答数：26件)

図 2-2-20 回収条件(ガーゼ・脱脂綿) (在宅介護支援事業所) (複数回答有り有効回答数：11件)

iii) 回収する者について

誰が回収しているかについて図 2-2-2 1 に示した。

在宅介護支援事業所では、「自社で回収している」ところが 9 割を占め、それ以外は産業廃棄物処理業者が回収しているという回答であった。

薬剤師会では、「個々の薬局」(3 件)、「出入りの医療機関」(1 件)(有効回答: 4 件)。

メーカーは、「自社で回収する」という回答があった。(有効回答数: 1 件)

自治体、薬剤師会は該当の設問なし。

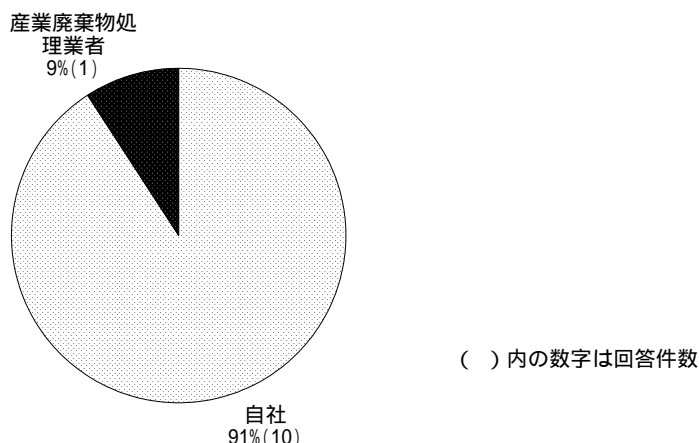


図 2-2-2 1 回収する者(ガーゼ・脱脂綿)
(在宅介護支援事業所)
(有効回答数: 11 件)

iv) 回収後の処理について

回収後、どのように処理しているかについての回答は、薬剤師会、在宅介護支援事業所、メーカーともに全ての回答が「産業廃棄物処理業者」に処理を頼んでいるということだった。

薬剤師会 「産業廃棄物処理業者」(有効回答数: 1 件)

在宅介護支援事業所 「産業廃棄物処理業者」(有効回答数: 11 件)

メーカー 「産業廃棄物処理業者」(有効回答数: 1 件)

自治体は該当の設問なし。

v) 回収を行うようになったきっかけについて

在宅医療廃物の回収を行うようになったきっかけについての回答は、薬剤師会では「自治体の指導と患者の相談を受けたことから自社で判断」(1 件)、在宅介護支援事業所・メーカーはすべて「自社の判断」によって、であった。

薬剤師会 「自治体の指導と患者の相談を踏まえ自社で判断」
(有効回答数: 1 件)

在宅介護支援事業所 「自社の判断で」(有効回答数: 11 件)

メーカー 「自社の判断で」(有効回答数: 1 件)

自治体は該当の設問なし。

回収(受入れ)しない場合(で回収(受入れ)しないと答えた場合)

i) 誰が回収しているかについて

回収していない場合、誰が回収しているかの把握状況についての回答を図 2-2-2 に示した。

受入れていない自治体が把握している回収者としては、「医療機関」という回答が多かった。

薬剤師会では、「個々の薬局」という回答が多く、在宅介護支援事業所では、「自治体」という回答が9割を占めた。

メーカーは該当の設問なし。

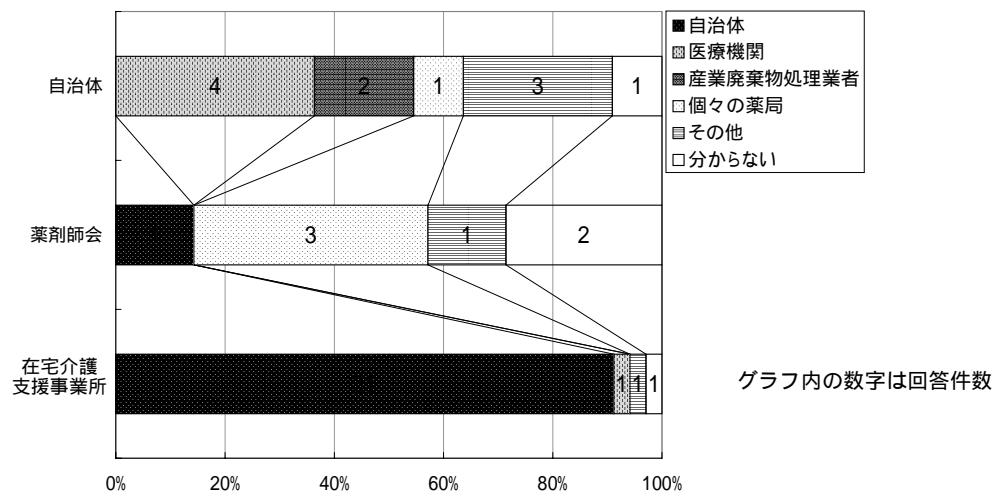


図 2-2-2 2 回収する者(ガーゼ・脱脂綿)

(複数回答有り有効回答数:自治体 11 件、薬剤師会 7 件、在宅介護支援事業所 34 件)

ii) どこで処理されているかについて

回収していない場合に、どこで処理されているかの把握状況についての回答を図2-2-23に示した。

自治体では、回収後の処理までは「分からない」という回答が多かった。

薬剤師会では、「産業廃棄物処理業者」(1件)であった。(有効回答数:1件)

在宅介護支援事業所は、有効な回答は無かった。

メーカーは該当の設問なし。

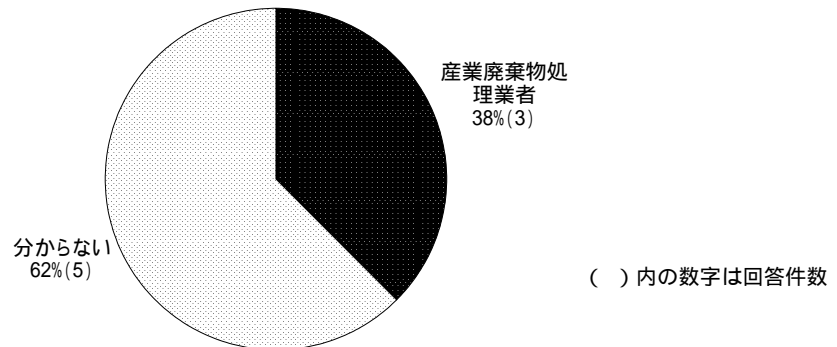


図2-2-23 回収後の処理(ガーゼ・脱脂綿)

(自治体)

(有効回答数:8件)

(4) 注射針等

在宅医療廃棄物の受入れ、回収

受入れ（自治体）、回収状況の結果を図 2-2-24 に示した。

自治体は 8 割近くが受入れを行っていない。

薬剤師会では、2 割程度が回収を行っている。

在宅介護支援事業所では、6 割程度が回収を行っている。

注射針を取り扱っているメーカー 3 社（9 社中）の回答では、回収は行われておらず、要請があった場合に回収を行うところが 1 社あった。

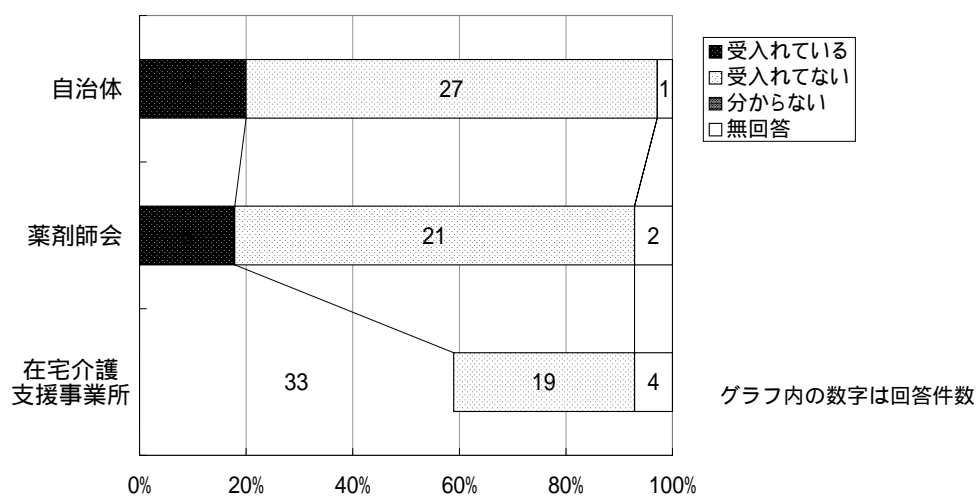


図 2-2-24 受入れ・回収（注射針）

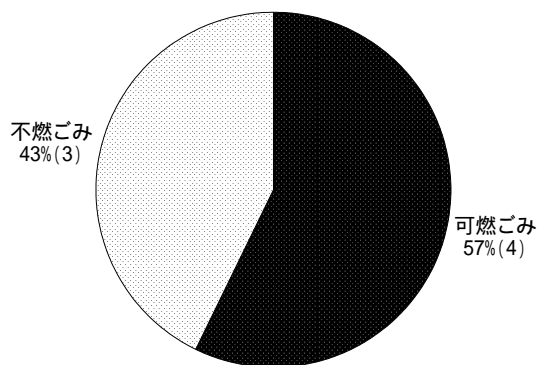
（有効回答数：自治体 35 件、薬剤師会 28 件、在宅介護支援事業所 56 件）

受入れ・回収を行っている場合（ で回収(受入れ)していると答えた場合)

i) 自治体の受入れ・回収時の分別方法

注射針をどのような廃棄物として受入れているかについて図 2-2-25 に示した。

注射針は、ほぼ同等の割合で「可燃ごみ」、「不燃ごみ」として受入れられている。不燃ごみとして回収するという回答の中には、「不燃ごみで回収して可燃で処理する」というものもあった。(1件)



()内の数字は回答件数

図 2-2-25 分別方法(注射針)
(自治体)
(有効回答数:7件)

ii) 回収（受入れ）を行う条件について

受入れ(自治体) 回収を行う条件を設置しているか図 2-2-26、図 2-2-27 に示した。

自治体、在宅介護支援事業所とも、9割以上が回収の条件を指定している。その他の主な受入・回収条件を以下に示す。

- ・ 「金属の箱（お菓子箱）等に入れて市の担当窓口まで持参する」
- ・ 「医療機関へ戻すよう指導しているが、やむを得ない場合に受入れる。」
- ・ 「指定収集袋に入れ、口に黄色いテープを巻く」(各1件) 以上：自治体

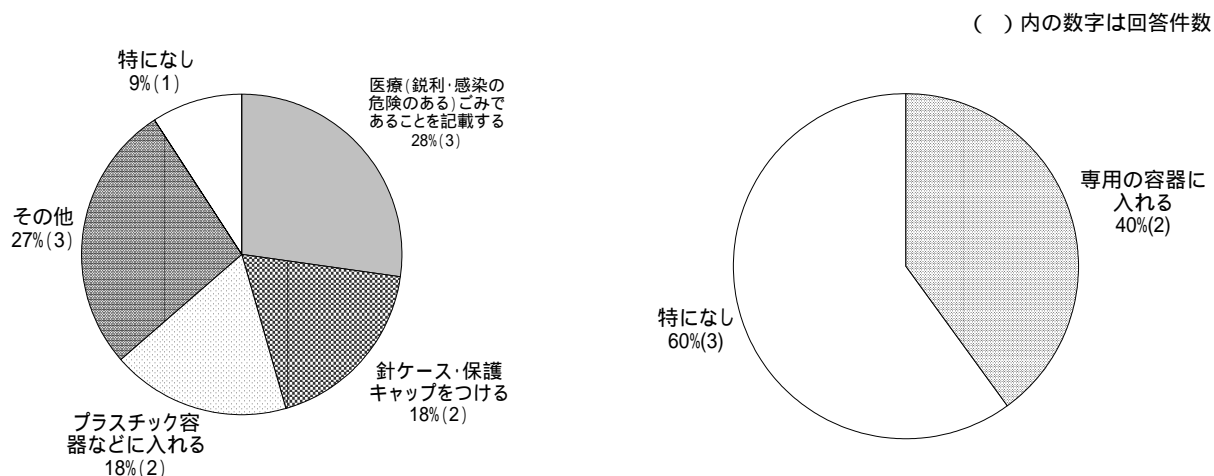


図 2-2-26 受入条件 (注射針)
(自治体)
(複数回答有り有効回答数：11 件)

図 2-2-27 回収条件 (注射針)
(薬剤師会)
(複数回答有り有効回答数：5 件)

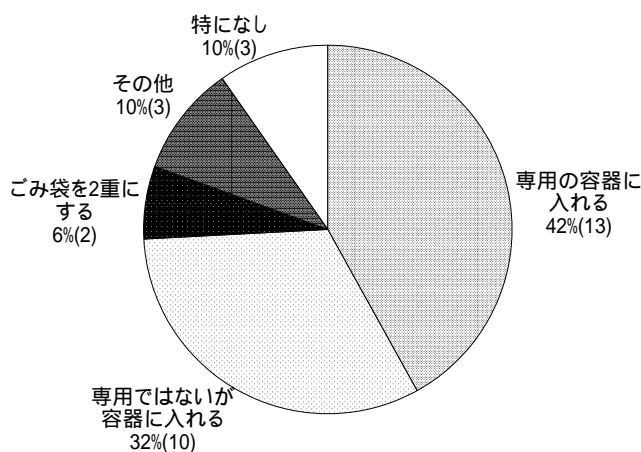


図 2-2-28 回収条件 (注射針)
(在宅介護支援事業所)
(複数回答有り有効回答数：31 件)

iii) 回収する者について

誰が回収しているかについて図 2-2-29 に示した。

在宅介護支援事業所では、「自社」で回収しているところが 9 割近くを占め、それ以外は産業廃棄物処理業者が回収しているという回答であった。

メーカーは、「自社」で回収するという回答があった。(有効回答数：1 件)

自治体、薬剤師会は該当の設問なし。

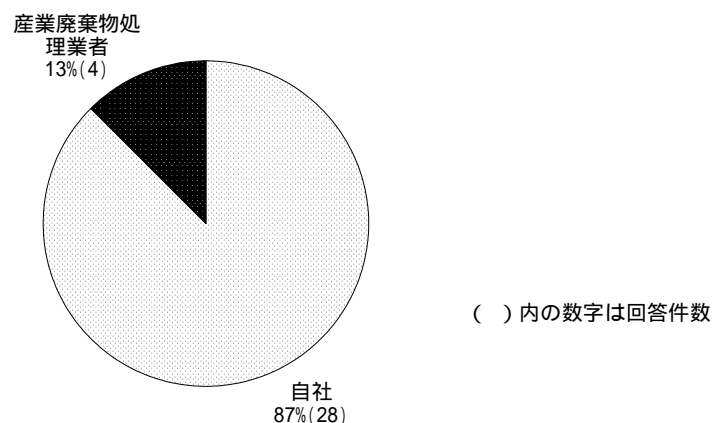


図 2-2-29 回収する者(注射針)
(在宅介護支援事業所)
(複数回答有り有効回答数：32 件)

iv) 回収後の処理について

回収後、どのように処理しているかについて図 2-2-30 に示した。

在宅介護支援事業所では、「産業廃棄物処理業者」に処理を頼んでいるところがほとんどであった。

薬剤師会・メーカーともに「産業廃棄物処理業者」に処理を依頼しているという回答があった。(薬剤師会 5 件、メーカー 1 件)

自治体は該当の設問なし。

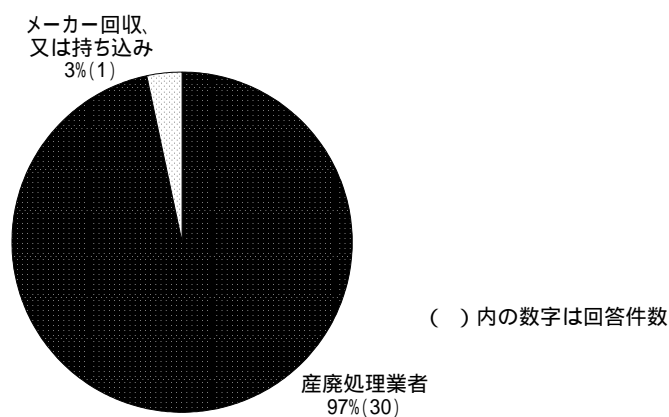


図 2-2-30 回収後の処理(注射針)
(在宅介護支援事業所)
(複数回答有り有効回答数：31 件)

v) 回収を行うようになったきっかけについて

回収を行うようになったきっかけについて図 2-2-3 1 に示した。

在宅介護支援事業所では、「自社の判断」で回収を始めたところが多かった。その他の回答は、「病院のマニュアルによる」(1件)等であった。

薬剤師会では、「行政からの指導と患者からの相談を踏まえ自社で判断して」という回答があった。(有効回答数：1件)

メーカーでは、「患者からの相談を受けて自社で判断して」(有効回答：1件)という回答があった。

自治体は該当の設問なし。

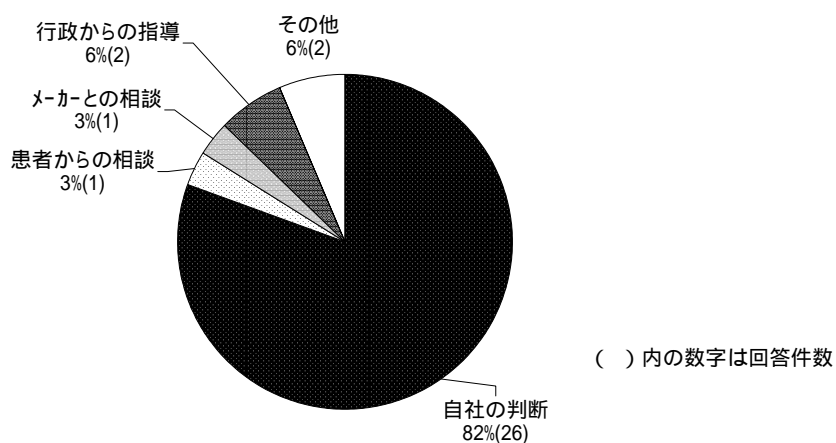


図 2-2-3 1 回収のきっかけ(注射針)
(在宅介護支援事業所)
(複数回答有り有効回答数：32件)

回収(受入れ)しない場合(で回収(受入れ)しないと答えた場合)

i) 誰が回収しているかについて

回収していない場合、誰が回収しているかの把握状況についての回答を図 2-2-3 2 に示した。

受入れていない自治体が把握している回収者として「医療機関」が約 4 割を占めた。

薬剤師会では、「医療機関」、「個々の薬局」、在宅介護支援事業所では、「医療機関」という回答が多かった。

メーカーは該当の設問なし。

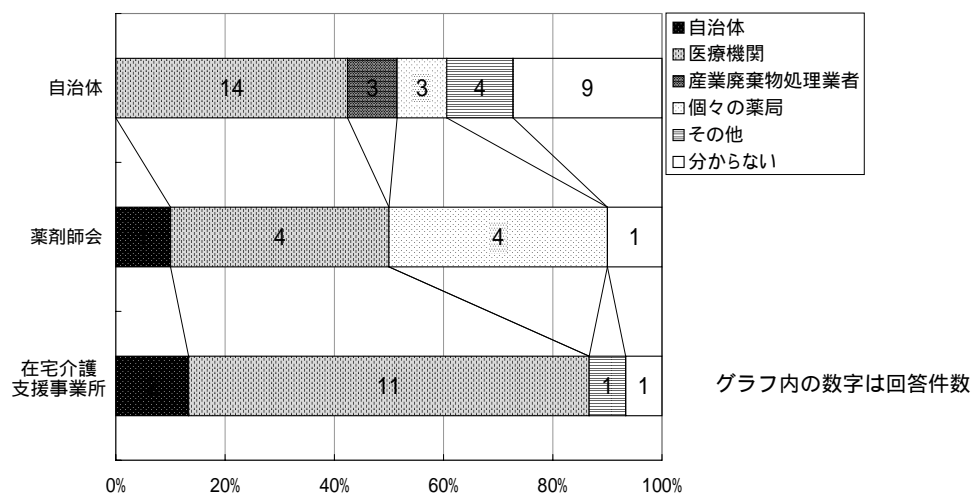


図 2-2-3 2 回収する者(注射針)

(複数回答有り有効回答数:自治体 33 件、薬剤師会 10 件、在宅介護支援事業所 15 件)

ii) どこで処理されているかについて

回収していない場合に、どこで処理されているかの把握状況についての回答を図2-2-33に示した。

自治体では、産業廃棄物処理業者が処理しているとの回答が4件あった。「その他」の回答は、「市の指導による」(1件)。

薬剤師会では、「産業廃棄物処理業者」(2件)であった(有効回答数:2件)。
在宅介護支援事業所は、有効な回答は無かった。

メーカーは該当の設問なし。

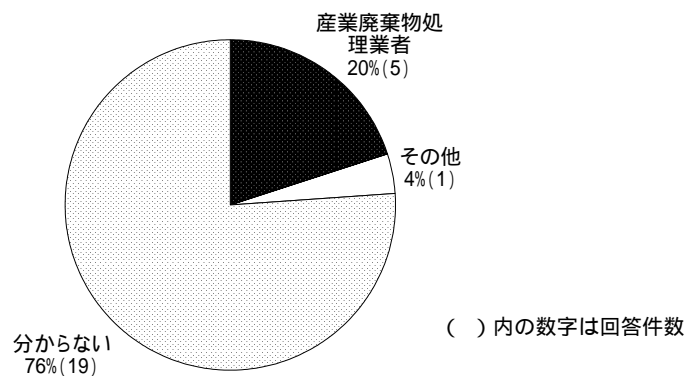


図2-2-33 回収後の処理(注射針)
(自治体)
(有効回答数:25件)

(5) おむつ等

在宅医療廃棄物の受入れ、回収

受入れ（自治体）回収状況の結果を図 2-2-34 に示した。

オムツは自治体がほぼ受入れており、薬剤師会・在宅介護支援事業所ともに回収は行われていない。取り扱っているメーカー4社（9社中）の回答では、回収は行われていなかった。

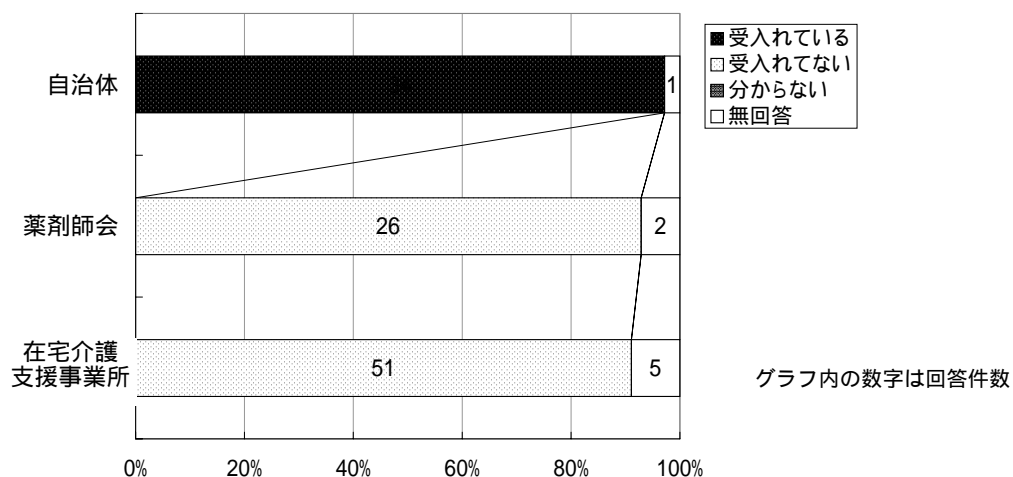


図 2-2-34 受入れ・回収（おむつ）

（有効回答数：自治体 35 件、薬剤師会 28 件、在宅介護支援事業所 56 件）

受入れ・回収を行っている場合（ で回収(受入れ)していると答えた場合）

i) 自治体の受入れ・回収時のごみの種類

全ての回答が自治体ではおむつを「可燃ごみ」(34 件)として受入れている。

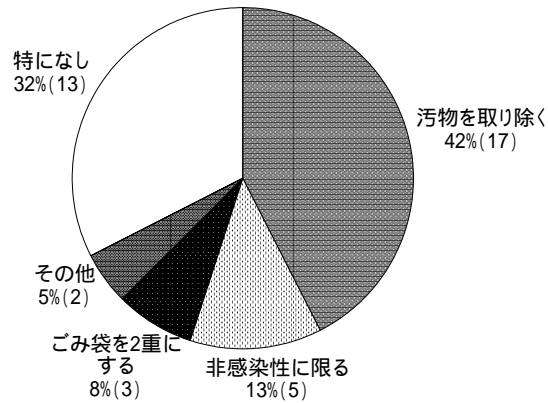
(有効回答数 34 件)

ii) 回収（受入れ）を行う条件について

受入れを行う条件を設置しているか図 2-2-35 に示した。

受入条件を設けている自治体は、7割を占めた。その他は、

- ・ 「ごみ袋に在宅医療廃棄物であることを記載する。」
- ・ 「市指定の専用袋に入れる。」(各1件)であった。



()内の数字は回答件数

図 2-2-35 受入条件（おむつ）
（自治体）

（複数回答有り有効回答数：40件）

なお、おむつは自治体回収されているため、) ~) の質問には、自治体、薬剤師会、在宅介護支援事業所、メーカーともに回答は無かった。

(6) その他の廃棄物

その他の在宅医療廃棄物として具体的にあげられたものを表 2-2-1 に示す。

表 2-2-1 その他の在宅医療廃棄物

	受入れる(回収する)として あげられたもの	受入れない(回収しない)として あげられたもの
自治体	人工肛門、家庭の常備薬	薬品
薬剤師会	回答なし	回答なし
在宅介護 支援事業所	注射器、ボトル類、薬品、消毒液 容器、アンプル、I V付バーライ ン、バイアル、B Sセンサー、I V H、バルン、点滴	消毒液の入った瓶、ボトル、カテ ーテルチップ類、膀胱用の使い捨 てコップ、浣腸、ゴム手袋
メーカー	回答なし	浣腸

在宅医療廃棄物の受入れ、回収

受入れ(自治体)、回収状況の結果を図 2-2-36 に示した。

自治体と在宅介護支援事業所での回収が多少行われている。薬剤師会での回収は行われていない。

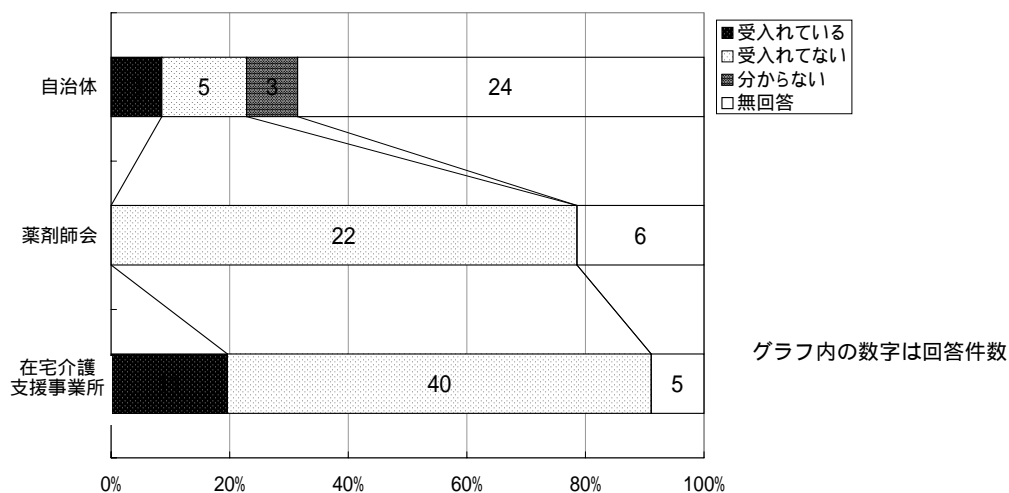


図 2-2-36 受入れ・回収(その他)

(有効回答数：自治体 35 件、薬剤師会 28 件、在宅介護支援事業所 56 件)

受入れ・回収を行っている場合（ で回収(受入れ)していると答えた場合)

i) 自治体の受入れ・回収時の分別方法

その他の在宅医療廃棄物は「可燃ごみ」で処理する（3件）という回答があった。（有効回答：3件）

ii) 回収（受入れ）を行う条件について

受入れ（自治体）回収を行う条件を設置しているか図 2-2-37 に示した。在宅介護支援事業所では、「容器に入れる」という条件が多かった。

自治体は「特になし」（2件）、「汚物を取り除く」（1件）という回答があった。（有効回答：3件）

薬剤師会・メーカーの回答はなかった。

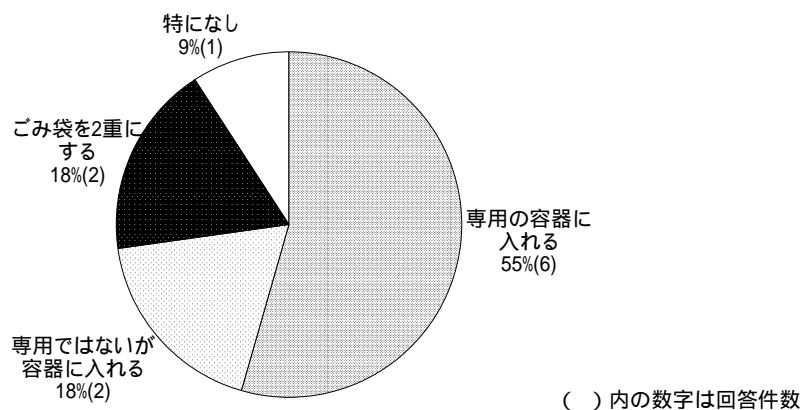


図 2-2-37 回収条件（その他）

（在宅介護支援事業所）

（複数回答有り有効回答数：11件）

iii) 回収する者について

在宅介護支援事業所では、「自社」(11件)で回収を行っているという回答があった(有効回答:11件)。

メーカーの回答はなかった。

自治体、薬剤師会は該当の設問なし。

iv) 回収後の処理について

在宅介護支援事業所では、「産業廃棄物処理業者」(11件)に処理を頼んでいるという回答があった(有効回答:11件)。

薬剤師会・メーカーともに回答はなかった。

自治体は該当の設問なし。

v) 回収を行うようになったきっかけについて

在宅介護支援事業所では、「自社で判断して」(11件)という回答があった。(有効回答:11件)

薬剤師会・メーカーともに回答はなかった。

自治体は該当の設問なし。

回収(受入れ)しない場合(で回収(受入れ)しないと答えた場合)

i) 誰が回収しているかについて

回収していない場合、誰が回収しているかの把握状況についての回答を図 2-2-38 に示した。

受入れていない自治体が把握している回収者は、「医療機関」という回答が多い。

薬剤師会では、「個々の薬局」、「自治体」、在宅介護支援事業所では、「自治体」という回答があった。

メーカーは該当の設問なし。

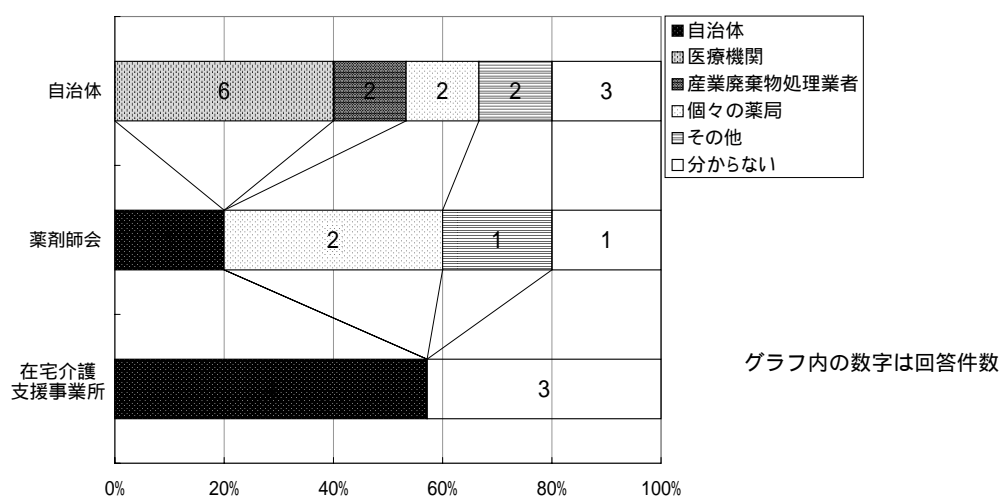


図 2-2-38 回収する者(その他)

(有効回答数:自治体 15 件、薬剤師会 5 件、在宅介護支援事業所 7 件)

ii) どこで処理されているかについて

回収していない場合に、どこで処理されているかの把握状況は、自治体では、「産業廃棄物処理業者」(1 件)、「分からない」(6 件)であった。(有効回答数: 7 件)

薬剤師会では、「産業廃棄物処理業者」(有効回答数: 1 件) 在宅介護支援事業所からは回答はなかった。

メーカーは該当の設問なし。

2-2-2 在宅医療廃棄物の処理全般に関わる調査

(1) 在宅医療廃棄物の回収量・回収費用の負担者・回収費用の捻出

i) 回収量

薬剤師会、在宅介護支援事業所の回収量の分布を図 2-2-39、図 2-2-40 に示した。なお、メーカーにも同様の質問を行ったが、無回答であった。

薬剤師会での回収量は、0 以上～30kg/年の間の回収量で回答があった。在宅介護支援事業所では、0 以上～5kg/年という回答が多かった。

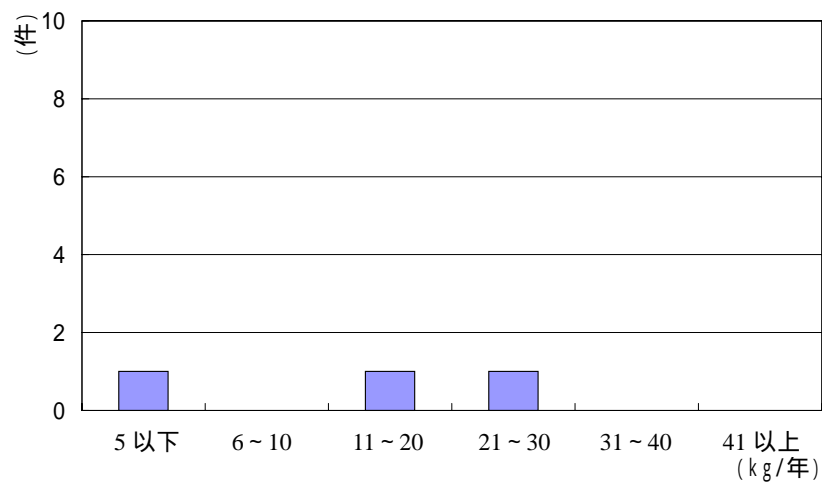


図 2-2-39 回収量 (薬剤師会)

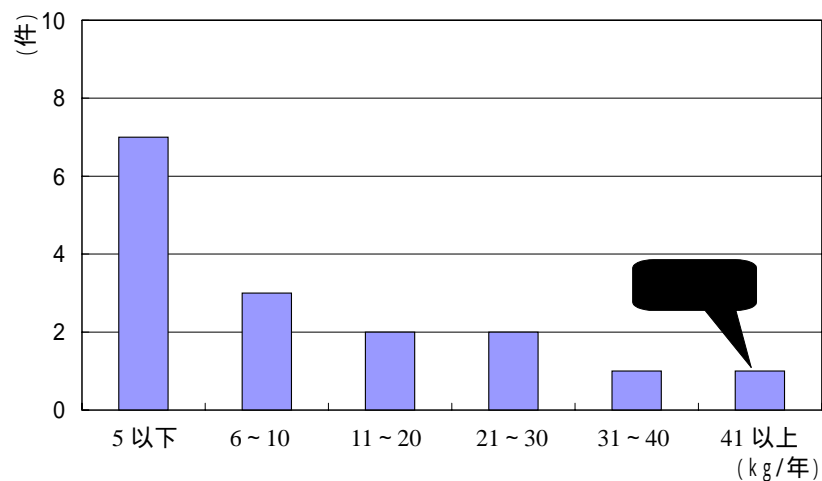


図 2-2-40 回収量 (在宅介護支援事業所)

ii) 回収費用の負担者

回収費用を誰が負担しているかについて図 2-2-4 1、図 2-2-4 2 に示した。

薬剤師会では、「薬剤師会」または「調剤薬局」が負担している。

在宅介護支援事業所では、「自社」が負担という回答が多かった。

メーカーは、「自社」で負担（1 件）しているという回答があった。（有効回答数：1 件）

() 内の数字は回答件数

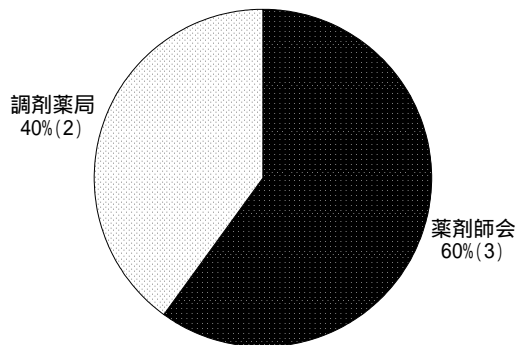


図 2-2-4 1 回収費用負担者
（薬剤師会）
（有効回答数：5 件）

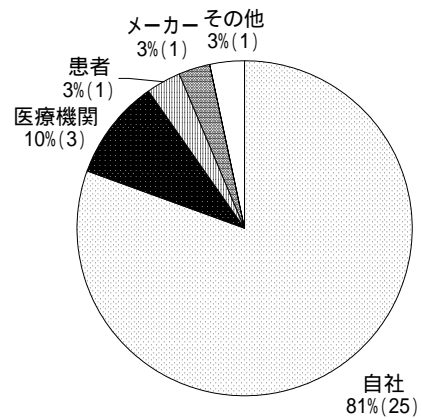


図 2-2-4 2 回収費用負担者
（在宅介護支援事業所）
（有効回答数：在宅介護支援事業所 31 件）

iii) 回収費用の捻出方法について

回収費用の捻出方法について図 2-2-4 3 に示した。

薬剤師会、在宅介護支援事業所ともに処理費用の捻出には困っていないが、今後増えると困るという回答が多かった。メーカーも同様であった(1件)。(有効回答数 1 件)

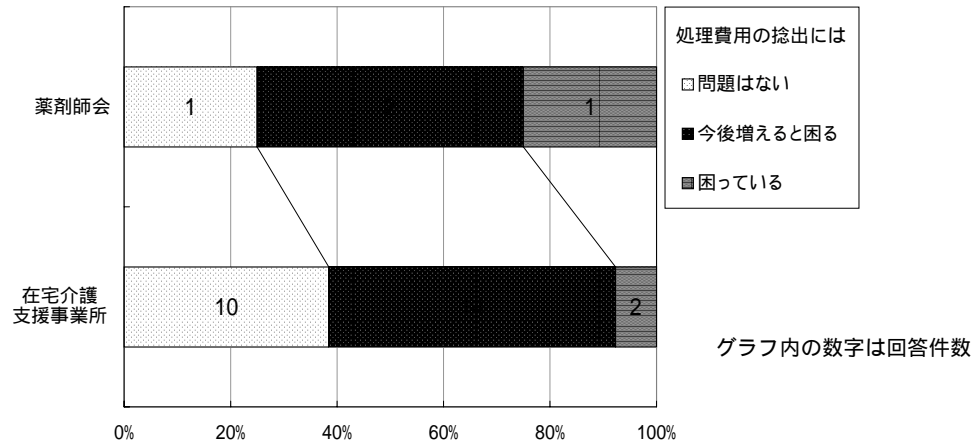


図 2-2-4 3 回収費用の捻出

(有効回答数：薬剤師会 4 件、在宅介護支援事業所 26 件)

(2) 調剤薬局等の独自回収について

調剤薬局の独自回収について図 2-2-4 4 に示した。

独自回収を行っていることを把握している薬剤師会が3割程度あったが、何社が行っているかまでは把握していないとするところが多かった。

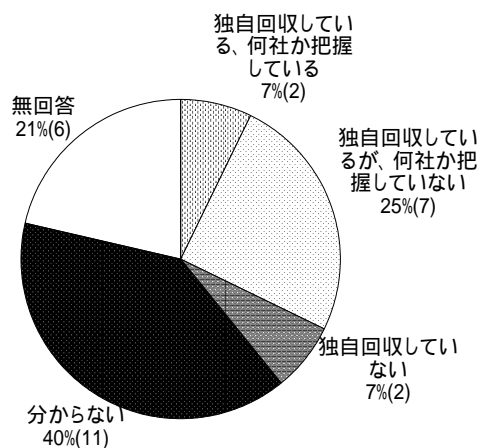
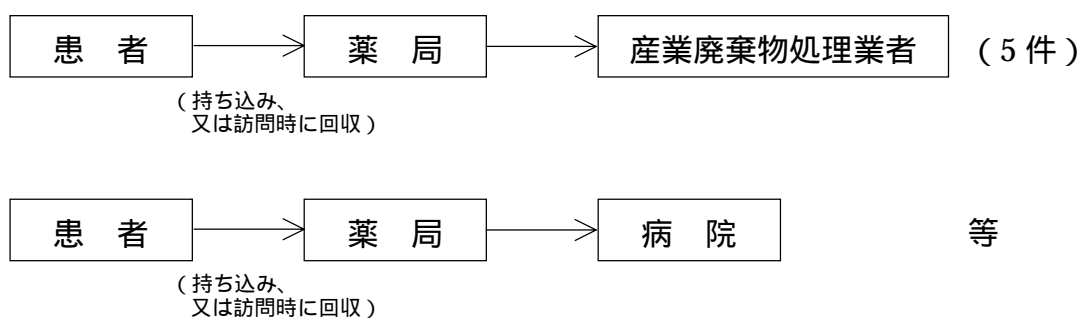


図 2-2-4 4 調剤薬局の独自回収の把握
(有効回答数：薬剤師会 28 件)

薬剤師会が把握している、調剤薬局の独自回収ルートを示す。



(3) 処理時に起こった事故の報告

処理時（回収・運搬等）に起こった事故について図 2-2-45 に示した。いずれの場合でも事故の報告があった。

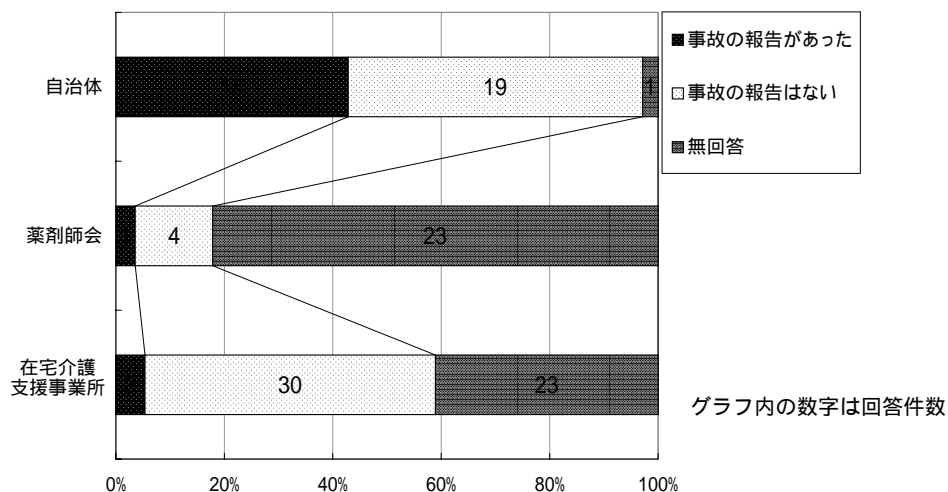


図 2-2-45 事故の報告

(有効回答数：自治体 35 件、薬剤師会 28 件、在宅介護支援事業所 56 件)

具体的に起こった事故の内容について以下に示した。

自治体

- ・ 「怪我には至らなかったが、収集時、選別中にごみの中から注射針がでてきた」(5 件)
- ・ 「収集時、選別中に注射針が作業員の手を刺さった」(5 件)
- ・ 「収集時にバッグの残留物が発散し、作業員の被服に付着した」 等

薬剤師会

- ・ 「注射針を手を刺した」(1 件)

在宅介護支援事業所

- ・ 「注射針を手を刺した」(3 件)

(4) 処理に関して受けた相談

処理時（回収・運搬等）に起こった事故について図 2-2-46 に示した。
 いずれの場合も、「どこに出すか」、「どのようにして出すか」という質問を受けていることが多かった。

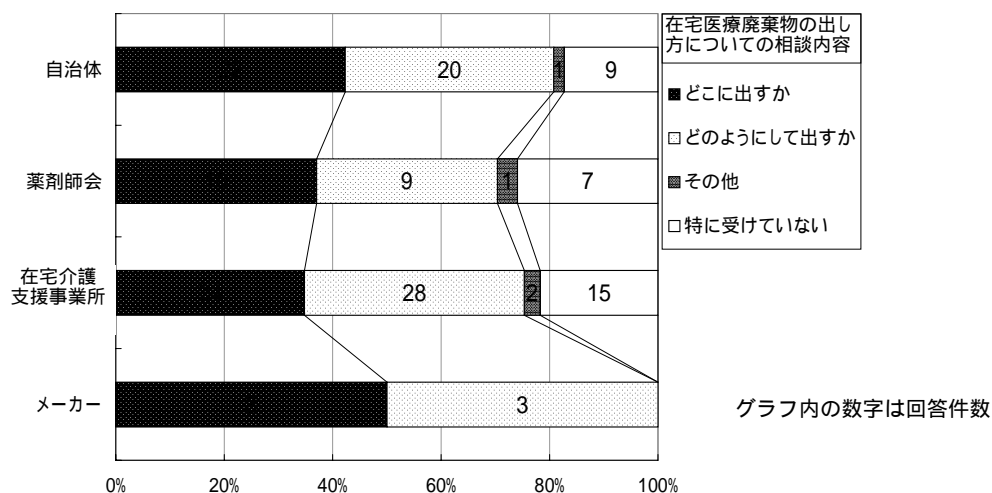


図 2-2-46 処理に関して受けた相談

(複数回答有り有効回答数：自治体 52 件、薬剤師会 27 件、在宅介護支援事業所 69 件、メーカー 6 件)

その他の相談内容とそれに対する回答内容を以下に示す。

自治体

- ・ 「在宅医療廃棄物の処理方法に関して相談を受け、提供した医療機関へ戻すように指導した」

薬剤師会

- ・ 「注射針の回収を近くの薬局で行っているかどうか相談を受け、医療機関へ戻すよう答えた」

在宅介護支援事業所

- ・ 「注射（点滴）後のごみはどうすればいいのかと相談を受け、当社で処分すると答えた」(1件) 等

(5) 処理する上での問題点

在宅医療廃棄物を処理する上で問題があるかどうかについて図 2-2-47 に示した。

自治体では、処理する上で「問題がある」という回答が多かった。薬剤師会、在宅介護支援事業所では、「問題がある」、「問題がない」という回答がほぼ同等であった。

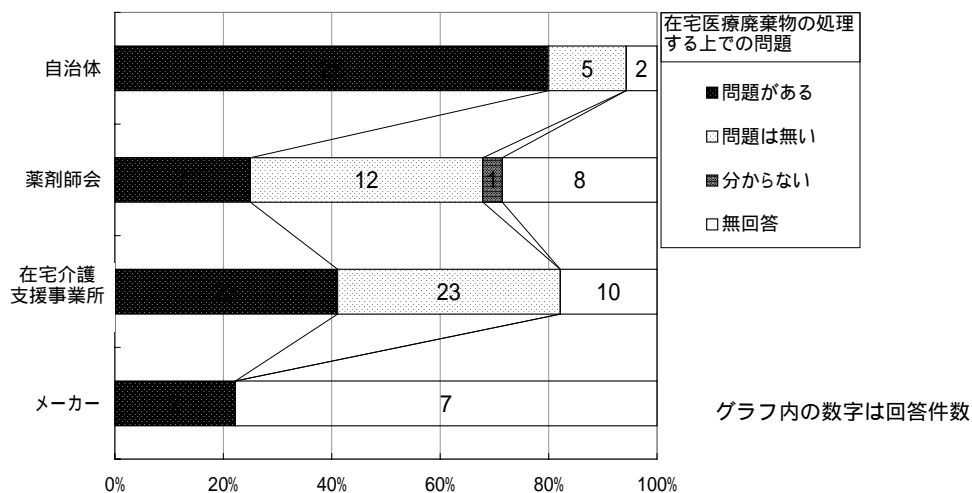


図 2-2-47 処理する上での問題について

(有効回答数：自治体 35 件、薬剤師会 28 件、在宅介護支援事業所 56 件、メーカー 9 件)

在宅医療廃棄物を処理する上での具体的な問題としてあげられたものを表 2-2-2 に記す。

表 2-2-2 在宅医療廃棄物を処理する上での問題点

	自治体	薬剤師会	在宅介護支援事業所	メーカー
収集・回収時の問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・不燃ごみとして出された場合、分別が守られていないと、作業員の手選別時に事故（針が刺さる等）が起こる恐れがある（11件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・運搬時に事故の可能性がある（2件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問時に回収したものを持ち歩くのは荷物になるし、不衛生である（5件） ・回収する為に利用者宅に一杯になるまで置いておくことから、感染の危険性が高まる（3件） ・回収用の専用容器が高すぎる（1件） ・患者がきちんと分別していない（1件） 	
区分が曖昧であるための問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・感染の危険性が高く、安全性や衛生面に不安である（7件） ・分別や自治体が受け入れるものと医療機関等への返却するものの判別が難しい（3件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・回収・処理方法の法律上の手続きが難しい。マニフェストがない（3件） ・回収・処理を行う責任の所在が不明確である（1件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・回収・処理の許認可や回収コストの転嫁方法が難しい（2件） ・在宅医療廃棄物をどこまでが一般ごみで、どこから産廃ごみとして扱うのかが不明瞭（1件） 	
他機関における問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカー、医療機関は、拡大生産者責任制度に基づく回収、リサイクルの責任を負うべきである（1件） 		<ul style="list-style-type: none"> ・医療関係者の患者への説明が不十分。理解も曖昧である（5件） ・薬剤を配る会社が廃棄物始末をしていない（1件） ・在宅患者の増加により、受入れを拒否する自治体が増える可能性がある（1件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・全てが感染性廃棄物ではないので、一律に医療廃棄物として扱う自治体がある（1件） ・自治体が回収・処理することになっているにもかかわらず、拒否する自治体がある（1件）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・医療廃棄物を全て産廃として扱うという地域住民との協定により処理が不可能（1件） ・高カロリー廃棄物対応の焼却炉、熔融炉が必要である（1件） ・注射針のモデル回収事業のように、その他の様々な対象についても回収事業を検討すべきである（1件） 		<ul style="list-style-type: none"> ・個人購入の場合の対処（1件） ・注射針のモデル回収事業のように、その他の様々な対象についても回収事業を検討すべきである（1件） ・自治体を受入れない汚染されたガーゼやオムツ等の処理方法（1件） 	

（ ）内は、回答件数

(6) 今後の対応

今後、在宅医療廃棄物処理に関する調査・検討を行う予定があるかについて図 2-2-48 に示した。

薬剤師会で 2 割程度が調査検討を行うことにしているが、他は 1 割程度であった。

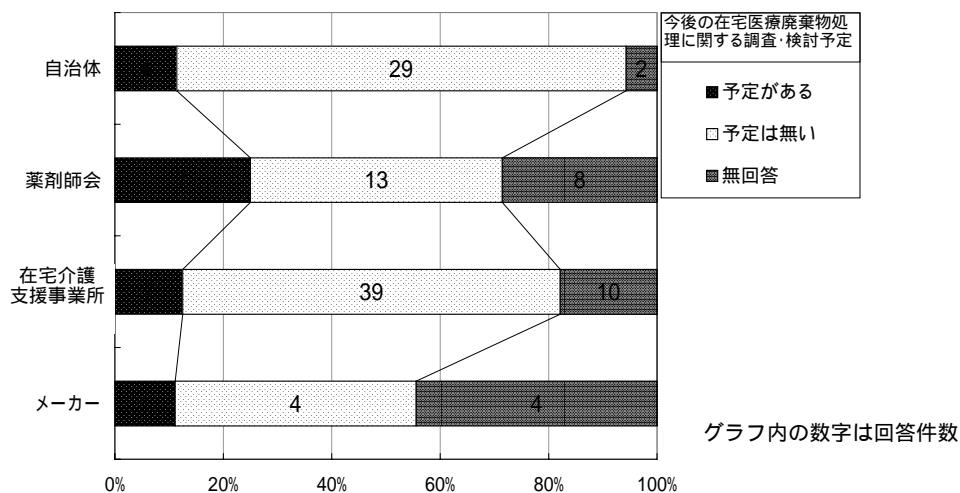


図 2-2-48 今後の調査・検討予定

(有効回答数：自治体 35 件、薬剤師会 28 件、在宅介護支援事業所 56 件、メーカー 9 件)

在宅医療廃棄物処理に関する調査・検討が必要な項目として具体的に回答があったものを以下に記す。

自治体

- ・ 「他の自治体と連携して対応策を検討する」
- ・ 「回収・処理方法やその対象の明確性について」
- ・ 「自治体と医師会との連携により認識を一つにする」

薬剤師会

- ・ 「主に注射針等の回収方法や費用、廃棄の為のシステムを検討する」(4件)
- ・ 「薬剤師会で在宅廃棄物処理の研修会を行う」 等

在宅介護支援事業所

- ・ 「コストなどの負担や責任の所在を明らかにする」(3件)
- ・ 「回収するものによって誰が回収するのかを検討する」(2件)
- ・ 「オムツの回収や負担をどうするのか検討する」
- ・ 「医療廃棄物についても各医師会と会合を持ち、認識を一つにする」
- ・ 「検討委員会の立上げ。」

メーカー

- ・ 「オムツ処理の動向、処理コストの予測」

第3章 まとめ

3-1 結果の考察

今回のアンケート調査の結果から考察される在宅医療廃棄物処理の現状について、以下にまとめる。

(1) 在宅医療廃棄物の受入れ・回収の実施状況

“脱脂綿、ガーゼ”は7割以上、“おむつ”は、ほぼ全ての自治体が可燃ごみとして受入れている。

一方、“チューブ”、“バッグ”については約半数、“注射針”については約8割の自治体を受入れていない。受入れている場合でも、排出時の分別区分を可燃ごみとしている自治体と、不燃ごみとしている自治体がほぼ半数づつあり、「不燃ごみとして回収し、可燃ごみとして処理している」という回答もある等、処理方法が曖昧であるために、収集の段階で混乱が生じていることがうかがえた。

薬剤師会、メーカーは、回収していないという回答が多かった。

在宅介護支援事業所も、回収していないという回答が多かったが、自治体を受入れない率の高い“チューブ”“バッグ”“注射針”については、比較的回収している率が高い。

特に“注射針”は、在宅介護支援事業所の約6割が回収している。これは、約8割の自治体を受入れていないために、廃棄に困った患者が、在宅介護支援事業所等に相談を寄せるケースが増加し、「自社の判断」で「回収を行うようになった」在宅介護支援事業所が多いためであると考えられる。

(2) 在宅医療廃棄物の収集、処理方法

自治体では、在宅医療廃棄物の収集時に条件を付しているケースが多い。“脱脂綿、ガーゼ”では3割、“チューブ”“バッグ”“おむつ”では7~8割、“注射針”では約9割の自治体は何らかの排出条件を設けている。

具体的な条件としては、“おむつ”に関しては、「汚物を取り除く」「ごみ袋を2重にする」等が多い。“チューブ”“バッグ”“注射針”に関しては、「ごみ袋を2重にする」、「医療機関へ戻すよう指導のうえ、やむを得ない場合のみ受入れる」等があった。さらに、「医療廃棄物であることを明記する」、「他の可燃ごみと混合し、他人の目に触れないよう排出する」等、相反する条件も混在しており、在宅医療廃棄物の標準的な取扱い方法がないことがうかがえる。

一方、在宅介護支援事業所においても、在宅医療廃棄物の回収に条件をつけている場合が多い。その条件としては「専用の容器に入れる」や「ごみ袋を2重にする」等、安

全性を考慮したものが多い。これは、看護師の訪問時等に直接回収されることが多いため、プライバシーへの配慮等が特に必要ないためであると考えられる。

なお、在宅医療廃棄物の回収後の処理は、ほぼ全ての回答が「産業廃棄物処理業者に依頼する」であった。

(3) 在宅医療廃棄物処理に関する意識

「在宅医療廃棄物を自ら受入れていない（回収していない）場合、誰が回収しているか」との質問に関しては、自治体からは「医療機関」との回答が最も多く、在宅介護支援事業所からは“注射針”は「医療機関」、その他は「自治体」との回答が最も多かった。

さらに、「どこで処理されているか」については、7割以上の自治体が「わからない」と回答している。

在宅医療廃棄物の処理の際に起こった事故については、約4割の自治体は何らかの報告を受けている。具体的には、「針刺し事故」が最も多い。なお、在宅医療廃棄物処理に関して、約8割の自治体が、安全性の面等から問題があると回答している。

その他、薬剤師会では1件、在宅介護支援事業所では3件の事故報告があったとの回答があり、いずれも「針刺し事故」であった。

7割以上の自治体、薬剤師会及び9割以上の在宅介護支援事業所が、在宅医療廃棄物処理に関して何らかの相談を受けたことがあると回答している。具体的な内容としては、「どこに出すか」「どのようにして出すか」が大半を占めていた。

以上のように、在宅医療廃棄物処理は、実態が不透明な点も多く、患者から処理に関する問い合わせも寄せられている。しかし、「在宅医療廃棄物処理について調査・検討を行う予定があるか」との質問に対しては、約8割の自治体、約5割の薬剤師会、約7割の在宅介護支援事業所が「予定はない」と回答しており、在宅医療廃棄物に関する問題は、現状では、認識はされているが、実際に調査・検討を行う段階には至っていない。

(4) 在宅医療廃棄物処理の費用負担

在宅医療廃棄物进行处理するための費用負担については、自ら負担している例が多く、費用捻出については、現状では問題ないが、今後処理量が増えると困るとの回答が最も多かった。

(5) 調剤薬局等の独自回収

「薬剤師会所属の調剤薬局等の独自回収を行っているか」との質問に対して、独自回収していると回答した薬剤師会は9件(32%)あったが、うち7件は「実施件数までは把握していない」との回答であった。また、「独自回収しているか分からない」との回答も11件(40%)あり、調剤薬局の独自回収については、現状では薬剤師会は把握していない例が多いことを示す結果となった。

3 - 2 今後の課題

以上の結果より、在宅医療廃棄物処理に関する今後の課題としては、以下の3点が挙げられる。

(1) 在宅医療廃棄物の定義・区分の見直し

在宅医療廃棄物は、医療機関から排出される感染性廃棄物と変わらない性状のものも多く、一般の家庭ごみと比較して感染性、危険性のあるものが多い。しかし現行法下では、在宅医療廃棄物は一般廃棄物に区分されているため、排出、分別の基準が確立せず、事故を引き起こしたり、それにより受入れを拒否する自治体も多い。

また、産業廃棄物ではないため、産業廃棄物処理業者は処理を受託することができず、行き場がなくなっている。

在宅医療廃棄物の適正処理を目指すにあたり、その根本となる在宅医療廃棄物の定義・区分を実状にあった形で見直すことが急務となっている。

(2) 在宅医療廃棄物処理基準の確立

先に述べたように、在宅医療廃棄物は現状では一般廃棄物に区分され、特別な処理基準はない。そのため、排出条件がまちまちとなり、安全性の問題から、自治体の受入拒否にもつながっていることが今回の調査でも示唆された。

また、家庭ごみ特有の問題（患者のプライバシー保護、周囲への飛散防止等）も踏まえ、在宅医療廃棄物の収集及び処理方法の明確な基準を確立すべく検討が必要である。

(3) 自治体、医療機関、産業廃棄物処理業者の連携

現行法下で在宅医療廃棄物の処理主体である自治体においては、今回の調査で、その8割が在宅医療廃棄物を一般廃棄物と同様に処理することに問題があると回答している。

また、今回の調査では、在宅医療廃棄物の回収を行っている薬剤師会、在宅介護支援事業所、メーカーのほぼ全てが、その処理を「産業廃棄物処理業者に依頼する」と回答している。

この場合、一般廃棄物の許可を取得している産業廃棄物処理業者であれば問題はないが、そうでない場合は違法行為となる。

今回の調査では、処理を担当している業者の許可取得状況までは把握できていない。いずれにしても、在宅医療廃棄物の適正処理に向けて、処理主体である自治体と、患者に近い存在である医療機関、適正処理能力を有する廃棄物処理業者の三者間で、それぞれが担うべき役割を明確にしていくとともに、三者の連携による処理ルートの確立が不可欠であると考えられる。

